

はじめに

最近の高等教育における大きな潮流は、「学修者本位の教育」であり、「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」への転換が声高に叫ばれています。学修者本位の教育の観点から、一人ひとりの学生が自らの学びの成果（学修成果）として身につけたコンピテンシー（知識やスキルだけではなく、自律性、責任感、倫理観などを含めた能力）を自覚し、活用できることが求められています。学生が、その学修成果を自ら説明し、社会の理解を得ることも肝要です。

高等教育機関に対する期待は、「リカレント教育」です。日本では、少子高齢化が急速に進み、人生 100 時代を迎え、18 歳人口が減少している現状のもとで、わが国全体の生産性をあげるためにリカレント教育は喫緊の課題です。

以上のような認識を基盤として、当機構は、令和 3 年度文部省委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」として、次の三つの事業を提案し、採択されました。

A FD・SD 事業「体系的な教職員研修プログラムの実用化に向けた改善・普及・展開」

専修学校の教職員が、多様な学生を対象とした生産性の高い学修を推進するために必要な知識・スキルを研修するためのプログラムを構築し、オンライン双方向授業を実施しました。

B コンピテンシー事業「学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・職業分野別展開とその有効性の検証」

学修成果の可視化および国際間、教育セクター間における人材・教材の流動性を高める目的で作成した資格枠組について、複数の職業分野において共有化を図るとともに、有効性を検証しました。

C ポートレート事業「職業実践専門課程版ポートレートの構築」

説明責任を果たし、情報公開を促進するために、学修に必要な情報を効率的に入手することが可能となり、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの構築に取り組みました。

本書は、以上のうち、令和 4 年度における B（コンピテンシー事業）の主な成果をまとめたものです。当機構では令和元年度までに、資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）、およびその概要を作成し、分野ごとに学修成果指標の検討を実施してきました。これらの取組の基盤に立って、本事業は、コンピテンシー体系の共有化を図り、学修成果測定のためのスキームの構築・普及をめざしました。本事業が、専修学校における専門職高等教育の質保証・向上に役立ち、さらに日本の生産性向上に貢献できることを願っております。

なお、本事業を進めるにあたっては、多くの専修学校や専門職大学院の実施協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 3 月
一般社団法人 専門職高等教育質保証機構
コンピテンシー事業 実施委員会
委員長 川口 昭彦

目 次

1 本事業の概要	1
1-1 本事業の背景	1
1-2 本事業の目的と概要	2
2 本事業の実施内容	3
2-1 事業実施の年次計画	3
2-2 本年度の取組み	4
3 学修成果情報共有システム	5
3-1 学修成果情報共有システムの概要	5
3-2 第 1 回分科会の議論	7
3-3 実証実験講座の実施	16
3-4 実証実験講座の結果(意見聴取)	25
3-5 第 2 回分科会の議論	28
3-6 企業からの意見	32
3-7 まとめ	35
4 公開シンポジウム	36

資料 1 実証実験で受講者に示した資料	38
資料 2 ポートフォリオ検索システムのマニュアル	42
資料 3 成果報告会配布資料.....	82

コンピテンシー事業 実施委員会名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
川口 昭彦	専門職高等教育質保証機構代表理事
山中 祥弘	メイ・ウシヤマ学園理事長
野田 文香	大学改革支援・学位授与機構准教授
小林 浩	リクルート進学総研所長
花岡 萬之	学事出版株式会社副社長
上別府 隆男	福山市立大学教授
本田 あけみ	関西国際大学教授
宇佐見 眞也	ECC コンピュータ専門学校校長
下藺 恵子	国際動物専門学校校長
堤下 隆司	修成建設専門学校校長

美容分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
川島 鋼太郎	ハリウッド大学院大学専攻長
本田 あけみ	関西国際大学教授
小川 朝子	ハリウッド大学院大学助手
佐藤 友彦	株式会社アクシス代表取締役

ゲーム・CG 分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
宇佐見 眞也	ECC コンピュータ専門学校校長
望月 弘	専門学校未来ビジネスカレッジ学部長
丸山 一彦	Japan Entertainment 開発協会事務局長
徳留 和人	株式会社スマイルブーム取締役

動物分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
下藺 恵子	国際動物専門学校校長
坂元 祥彦	宮崎ペットワールド専門学校校長
遊座 晶子	一般社団法人日本動物看護職協会副会長
山下 眞理子	全国動物教育協会動物看護教育担当

土木・建築分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
堤下 隆司	修成建設専門学校校長
松田 正之	中央工学校校長
野村 種明	東海工業専門学校金山校校長
稲沢 達也	古久根建設株式会社技術管理室担当部長

1 本事業の概要

当機構では、令和2年度の文部科学省委託事業¹（以下「令和2年度事業」）の中で、わが国において使用されることを想定し、かつ、国際通用性のある「資格枠組のレベル定義」を策定した。本事業は、この事業成果を継承し、学校評価の充実等に結び付けることを目的とした事業として位置付けられる。

1-1 本事業の背景

▼学修成果の可視化に関する流れ

学修成果をシステムティックに評価して公開する機運は、大学等における認証評価の開始以降、特に高まってきたように思われる。平成16年度に始まった認証評価では、たとえば、大学評価・学位授与機構の評価基準の一つとして「教育成果」が設定されていたが、学修者からの視点を重視する流れにしたがって、平成23年度からの2巡目では「学修成果」と改められた。平成26年度から実施された文部科学省の「大学教育再生加速プログラム（AP：Acceleration Program for University Education Rebuilding）」では、「学修成果の可視化」をテーマとした事業が多くを占めていた。このような流れを受け、多くの高等教育機関では、ルーブリックやカリキュラムマップなどの枠組を作成し、学修成果をあげるための工夫やその可視化が試みられている。

しかしながら、それらの試みの多くは、学修成果を測定する枠組の構築に重きが置かれており、学修成果を測る基準、すなわち、枠組の中身の議論が進んでいないように思われる。ルーブリックの形は整っているものの、その中身は成績評価基準をそのまま転写しただけで、しかもその内容は学校の中でしか通用せず、学生の将来のキャリア形成の基礎として位置付けるような視点に乏しいものも多い。

▼資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）の策定

今、高等教育機関に求められている学修成果の枠組は、グローバル化が進み、人生100年時代を迎えようとしている現代社会において、生涯に渡って参照可能で、かつ、国際通用性のあるレベル定義（レベルディスクリプター）である。わが国には、諸外国に存在する「国家資格枠組（NQF、National Qualifications Framework）」が存在しない。職業教育の観点から見ると、多くの専門学校生が取得目標とする国家試験は数多く存在し、中核的人材の輩出に少なからず貢献している。しかし、これらは各省庁が独自に設置・運営しているものがほとんどであり、国家的な観点からレベルの統一を図り、さらに、人材の移動可能性を促進するような発想はないに等しい。

¹ 文部科学省委託事業「職業実践専門課程を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の中で実施された「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」事業

1-2 本事業の目的と概要

本事業は、「資格枠組のレベル定義」を頂点としたコンピテンシー体系を、産業界、専門職高等教育機関、高等学校等と共有し、各職業分野で求められている学修成果の測定に用いる仕組みについて研究することを目的としている。

このとき、いくつかの職業分野を事例として、人材ニーズをもつ産業界と、人材供給源となる専門学校間において先行的に活用し、将来的には学修成果の測定のみならず、就職した後の職業能力の判定などに用いることにより、資格枠組の有用性を検証する。

2 本事業の実施内容

2-1 事業実施の年次計画

本年度事業では、目的達成のための段階として、専修学校（養成施設等）と産業界（国家試験合格者を雇用する業界等）、高等学校との間で活用されていくことを目指し、将来的に、職業分野に依存することなくその活用を広げていくスキームの構築を目指す。職業分野としては、「美容」、「ゲーム・CG」、「動物」、「土木・建築」の4分野を対象とする。

最終年度では、職業分野ごとに代表校を選定し、学校（学科）ごとの「学修成果評価」を試行し、産業界、高等学校等（海外の主体も含む）のステークホルダーによるアセスメントを実施して、3年間の事業成果とその発展可能性について検証する。

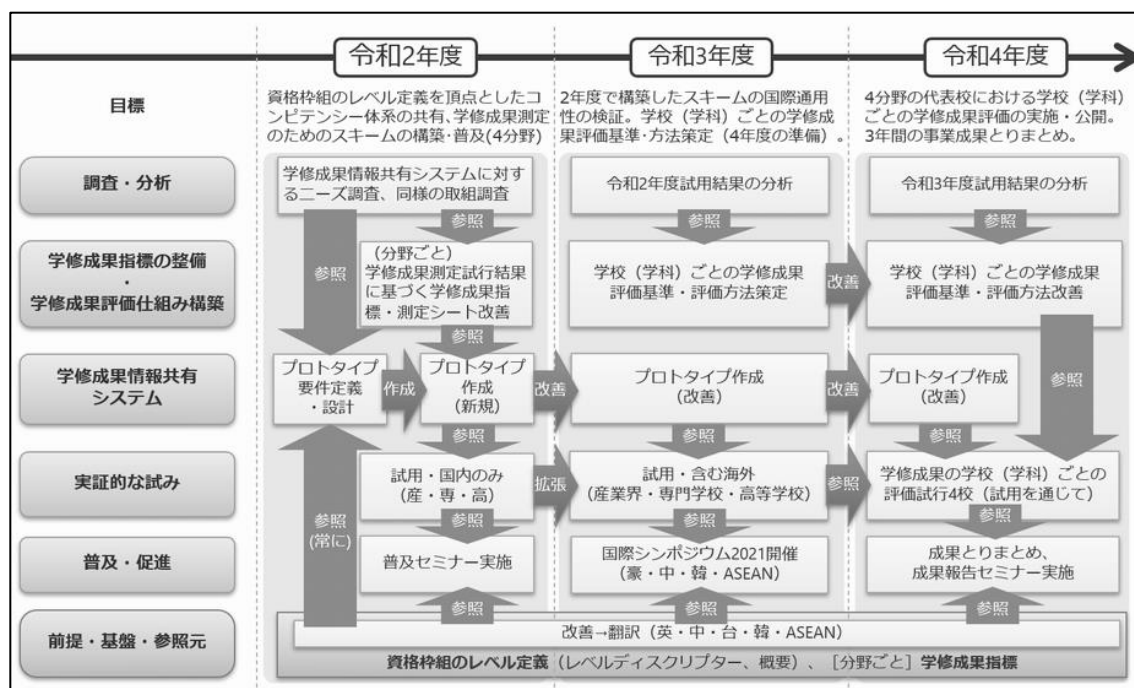


図 1 事業実施の年次計画

2-2 本年度の取組み

本年度事業は3年計画の3年目として、産業界、専門職高等教育機関、高等学校が「資格枠組のレベル定義」を共有し、かつ、これをそれぞれの立場で活用する仕組みの原型を構築する。この仕組みの構築を目標として、本事業では大きく次の3つの取組を進める。

- ① 学修成果情報共有システムを使用した実証実験
- ② 公開シンポジウムの実施
- ③ まとめ

本年度は、昨年度に開発した学修成果情報共有システムを実際に使用し、同システムの有効性を検証する。

一方、この数年における本事業の成果をもとに意見交換を行う場として、「国際的に信頼される専門職高等教育機関をめざして」と名付けた公開シンポジウムを企画・実施した。

本書では、以上の事業成果を述べる。

3 学修成果情報共有システム

3-1 学修成果情報共有システムの概要

本事業では、産業界、専門職高等教育機関、高等学校が、それぞれに所属する人材の情報を共有するシステムについて、図 2 のようなイメージを抱いている。すなわち、このシステムは、

よい人材を獲得したい産業界、

産業界が必要とする人材を育成しようとする専門職高等教育機関、

よい教育機関に人材を送り出したい高等学校、

これらが、「資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター：LD）」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定し、その結果を共有することによって、互いにメリットをもたらすことを目指している。

この仕組みの実現に向けて、「資格枠組のレベル定義」という共通の尺度を参照することを前提として、システムに対する産業界と専門学校との間のニーズを詳細にとらえるための調査を、令和 2 年度事業において実施した。

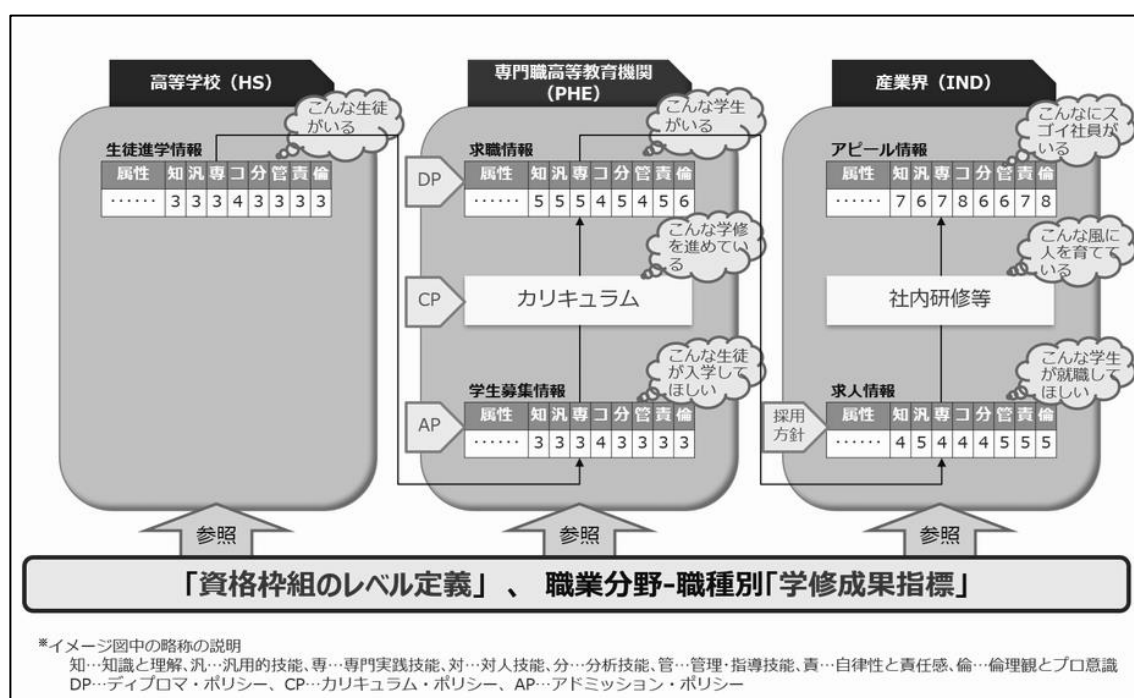


図 2 学修成果情報共有システムのイメージ

なお、図中の表内にある「知」「汎」「専」…「倫」と1字で書いてあるものは、学修成果指標の8つの人材特性で、それぞれが表すものは、表 1 のとおりである。また、「DP」「CP」「AP」は、教育機関における3つのポリシーで、それぞれが表すものは、表 2 のとおりである。

表 1 図中の略号

知	知識と理解
汎	汎用的技能
専	専門実践技能
対	対人技能
分	分析技能
管	管理・指導技能
責	自律性と責任感
倫	倫理観とプロ意識

表 2 図中の略号

DP	Diploma Policy (ディプロマ・ポリシー)	卒業認定・学位授与の方針。 教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。
CP	Curriculum Policy (カリキュラム・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針。 ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。
AP	Admission Policy (アドミッション・ポリシー)	入学者受け入れ方針。 教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すもの。

3-2 第1回分科会の議論

以上に示した方針に従って、各分科会を開催し、今年度の実証実験をどのように行うのかを中心に議論した。以下は、各分科会の議事録である。

(1) 美容分科会（2022年10月5日）

会議名	第1回美容分野分科会（コンピテンシー）
開催日時	2022年10月5日（水）15:00～16:30
場所	オンライン開催（Zoom）
出席者	本田、川島、佐藤友彦（敬称略） 事務局：江島

<打ち合わせ内容>

- 江島：・学修成果評価システムについて、昨年度より改善された点について説明
（サーバーメンテナンスにより、システムのパフォーマンスが上がり、実証実験の実用に耐え得るスピードにした。）
- ・マニュアルに沿って入力の実演（デモンストレーション）を行う。
（マニュアルは、【QAPHE ホームページ】→【文科学委託事業】→【コンピテンシー実績報告】→【学修成果指標共有システム関連】の【学修成果情報共有システム操作説明書（受講者用・教員用）PDFダウンロード】に掲載）

⇒委員からの意見

- 学生がコメントを自分で考えて入力するのは大変だと思う。
江島回答：他の分野でも同じ意見が出ています。そのため、土木・建築、動物分野では、まずExcelの学修成果測定シートに5段階評価してから、システムに入力する予定です。
- 学生は、パソコンよりスマホに入力させた方がよい。スマホでやらせるのであれば、Excelでなく、直接システムに入力させた方がいいのではないかと。
Excelシートとシステムの両方に入力させるのは負担になる。
- 講習会後、個人が宿題として入力するのは厳しい。講習会中に指導しながらその場で入力させたい。写真は、あらかじめ用意しておいてもらい、講習会中に操作させたい。
- システムを評価するのが目的か？
江島回答：一番の目的は学修成果指標の評価です。レベルが適切かを評価していただきたい。
- 今回の取り組みの目的は？今後、学修成果指標、システムを使ってどのような

取り組みを行なっていくのか？

江島回答：今回の実証実験の目的は、学修成果指標をつくるのにどれくらいの意味があるのかを知りたいと思っています。システムは、使い勝手が良いか悪いかくらいの評価があればいいと思っています。

- 今回の取り組みは、QAPHE とハリウッズの思惑があって連動性があるってやっていることなのか？また、第3者評価の各学校にこのシステムを導入させるなどを見据えてやっているのか？それを踏まえているのであれば、そのような目で見て評価をしていきたい。

江島回答：今後、システムを併せて売り込みができれば、差別化も図りやすいので、そのような思惑があるとは言えませんが、現段階ではそこまでは言えません。

- 自己評価の部分からファイルを添付することは可能か？

江島回答：可能です。

- 現在、授業の最後に手書きで自己評価しているものが、システムを使って自動で集計できるようになると楽になると思う。今回の検証において、学生がやってみてどうだったかなど感想をまとめ、今後授業に導入する場合は、どういう形でやった方がいいのかなどまとまってくると良いと思う。

《決定事項》

今後のスケジュール

1. 実証実験の計画書、事前に協力いただくための概要をまとめた案内文を事務局にて作成
↓
2. ハリウッズの釣谷先生、檜木先生に説明し(30分程度)、学生のピックアップをしてもらう。
 - ・2年生(レベル5)の生徒 各クラス2～3名程度選出↓
3. 学生向けの講習会を行う
 - ・日時は10月末、2時間程度(後日日程調整)
 - ※11月は、認定テスト、国家試験があるため10月中に行なう
 - ・入力には学生自身のスマホを利用してもらう
 - ・学生に事前にID・PWを伝え、システムにログインできるよう、あらかじめ準備しておいてもらう
 - ・学生に添付する写真を用意しておいてもらう
 - ・講習会中に入力を完了させる↓

4. 先生向けの講習会を行う

- ・1時間程度



5. 公開した内容を佐藤先生に評価していただく

(2) ゲーム・CG分科会(2022年9月22日)

会議名	第1回ゲーム・CG分野分科会(コンピテンシー)
開催日時	2022年9月22日(木) 13:00~14:30
場所	オンライン開催(Zoom)
出席者	宇佐見、丸山、徳留、望月(敬称略) 事務局:江島

<打ち合わせ内容>

江島:学修成果評価システムについて、昨年度より改善された点について説明

- ・サーバーメンテナンスにより、システムのパフォーマンスが上がり、実証実験の実用に耐え得るスピードにした。

ユーザーIDを使い実際にデモンストレーションを行う。

- ・操作画面のURLについては、後ほどメールにて送る。

⇒委員からの意見

- ゲーム・CG分野は、マニュアルを元にとりあえずマハラに入力してみるのはどうか?

→委員一同賛成

- マハラの子の科目のチェック項目欄にラジオボタンを付け、5段階評価を選択する形にはできないのか?

江島回答:残念ながら、マハラにはそのような機能がありません。

- 自己評価を生徒がフリーで書くのは、何を書いていいかわからないと思う。できるだけ生徒や教員の負担にならないようにしてほしいので、ある程度作られた内容を選択するなど、わかりやすいルールを作っておいてほしい。

江島回答:システム的な変更はできませんが、実証実験前に入力に迷わないよう標準化されたルールを作成するようにします。

- 1項目入力する度に登録したメールアドレスにメールが送信されるのか?

江島回答:[送信]ボタンを押すまでメールは送信されません。

- 教員と生徒のやり取りはどれくらい続くのか?

江島回答:システムを評価していただくための実験なので、学生が提出し、教

員がフィードバックするやり取りを1回だけ行っていただければと思っています。

- 1人の先生が全ての分野を評価するのは難しい。複数教員が分野ごとにフィードバックすることはできるか？

江島回答：システム上、1アカウント=1人の教員となります。担当教員が外側で話し合って、フィードバックは1人の教員に行なっていただきたい。

- 実証実験は仕方ないとして、実際運用する場合は、分野ごとに複数の教員がフィードバックしなければ、現実的な評価は難しい。外側で教員同士が話し合う時間を取ることも難しい。

⇒1人の学生を複数の教員が評価することは可能です。

- 複数のメールアドレスを登録できるのであれば、複数教員でアカウントを共有し、それぞれ担当する分野を評価して、評価終了後に[送信] 担当者が送信するようにしてはどうか。

江島回答：登録できるメールアドレス数については調べます。

- 同時にアクセスした場合など、排他制御はされるか？

江島回答：調べます。

⇒DBの排他制御は行われます。

- ECC コンピュータのアカウントを未来ビジネスカレッジ用に変更することは可能か？

江島回答：ユーザーIDは変更不可のため、新たにアカウントを取得する必要があります。姓、職業については変更可能です。どのようにするかは検討します。

⇒ECC コンピュータ専門学校のアカウントに加えて、未来ビジネスカレッジ用のアカウントを作成します。

- 未学習分野については？

→自己評価しないということで飛ばしてOKとする。ただし、意図して飛ばしたか忘れたのかわかるようにメモする必要がある。

- 教員がこの分野を評価してくださいと予め指示し、生徒が入力することはできるか？これができれば、記入漏れが防げるのでは？

江島：システムの機能としてできません。

《決定事項》

➤ 実証実験の人数：生徒2～3名(最大5名)、教員1、2名を選出いただく。

- 実証実験の計画書、事前に協力いただくための概要をまとめた案内文を事務局にて作成し送る。(2週間程度)
- ⇒未来ビジネスカレッジ用のアカウント作成のため、実証実験の実施要領の納期を10月16日(日)にさせていただきたい。

(3) 動物分科会(2022年9月21日)

会議名	第1回動物看護師分野分科会(コンピテンシー)
開催日時	2022年9月21日(水) 13:00~14:30
場所	オンライン開催(Zoom)
出席者	下菌、坂元、横田、山下(敬称略) 事務局:江島

<打ち合わせ内容>

江島:学修成果評価システムについて、昨年度より改善された点について説明

- ・サーバーメンテナンスにより、システムのパフォーマンスが上がり、実証実験の実用に耐え得るスピードになった。
- ・操作画面のURLについては、後ほどメールにて送る。

⇒委員からの意見

- 学生が評価しやすいようにした方がよい。文章で表現するのは難しいと思う。
- 委託事業で求められているのは、システムを評価することが主か?
江島回答:システムは結果の一つです。学修成果指標(評価シート)の妥当性が評価の対象だと思っています。
- 生徒にExcelシートで評価させた上で、マハラに入力させるのはどうか?
- 入力期限は?
江島回答:11月いっぱいと考えています。
- 学生は文章力がない。キーボードの入力が苦手。そのためコメントの例をある程度作って転記させる方法を検討してほしい。なるべく生徒に負担がかからないようにしてほしい。
⇒ 評価の手引きを作成する予定ですので、本件も委員のほうで作成してみる予定です(全項目ではなく数項目になる可能性があります)
- 評価項目が多すぎると時間がかかってしまうため絞ってほしい。[知識と理解]の中

である程度進んでいる科目を取り上げたい。

- 教員の愛玩動物看護師予備試験が11月6日にあるので、それ以降に行なってほしい。また、本試験が2月19日にあるため、その前は避けてほしい。
- Excelの表に【未習(未学習)】の項目も追加してほしい。
- Excelが5段階評価なので、マハラもA、B、Cではなく、5段階評価にすることは可能か？
江島回答：自動的に反映することはできないが、フリーテキストなので5段階評価にすることは可能です。
- 評価の手引きのようなものがあるとよい。例えば5の評価がどのようなものなのか文章化されていれば、基準があいまいにならない。
⇒委員のほうで、作成する予定です（全項目ではなく数項目になる可能性があります）
- 教員と学生が顔を合わせなくてもフィードバックでき、評価を次につなげていけるというのが、このシステムの良さだと思う。
そのため、難しいことを書かせるのではなく、生徒がこの科目を受けて不安に思っていることや振り返りを教員に伝えることができ、教員が対処するというように、双方向にやりとりできるメリットをより活かせればと思う。
- キーワードは、履修証明成果シート？を利用する方向で進める。
⇒動物病院実習ガイドライン事業
成果物「4-9 カリキュラムマップ 履修歴チェックシート」
- （ポートフォリオ検索システムについて）個人の学習履歴によって、企業側の検索にひっかからないのは使いづらいのでは？
江島回答：実証実験の第1段階はレベル作成、第2段階がマハラへの入力、第3段階が公開と考えています。今後の課題として、システムを使って企業側とやり取りできる人が出てくればよいと考えています。

《決定事項》

➤ 実証実験の人数：生徒2～3名(最大5名)、教員1、2名を選出いただく。

➤ 今後のスケジュール

【第1段階 Excel 評価シートへ入力】

マハラと一致した評価シートを作成（9月中）

(山下先生にご協力の上、項目数を絞り、学生にわかりやすい言葉に置き換えていただく。)

↓

生徒：評価シートに入力

↓

教員：評価シートに入力

【第2段階 マハラで入力】

11月6日以降、マハラに入力するためのオンライン講習会を実施する

- オンライン講習会の前に次回分科会を開催（日程はメールにて調整）

(4) 土木・建築分科会（2022年9月6日）

会議名	第1回土木・建築分野分科会（コンピテンシー）
開催日時	2022年9月6日（金）13:00～14:30
場所	中央工学校
出席者	堤下、松田、稲沢、野村（敬称略） 事務局：江島

<打ち合わせ内容>

江島：学習成果評価システムについて、昨年度より改善された点について説明

- ・サーバーメンテナンスにより、システムのパフォーマンスが上がり、よりスムーズに動作するようになった。
- ・Excel ファイルを添付できるようになり、測定シートの提出もできるようになった。
- 「学修成果情報共有システム受講者用操作説明書」に沿って、ダミーで作成したユーザーID を使い実際にデモンストレーションを行う。
- ・操作画面の URL については、後ほどメールにて送る。
- ・実証実験を行う場合、中央工学校様、東海工業専門学校様には、現在ダミーで作成した修成建設専門学校様の空いている ID を利用していただくか、それぞれ別に用意するか検討。

⇒委員からの意見

- レベルの設定は変更できるか？

江島回答：該当ページよりレベルを選択することで変更できます。

- 最終的にはどのように表示されるのか？

江島回答：ポートフォリオ検索システムのページから→土木建築分野検索→修成建設専門学校→レベル3 と辿ると、学習成果の公開のページが表示され、入力した情

報を閲覧することができます。ただし、生徒が「(パブリックにする Yes No)」の設定で Yes にしている場合のみ閲覧できます。

- 公開する設定になっていない場合、企業側が閲覧できずシステムの意味がないのでは？

江島回答：仕様としてはそうなりますが、学生と教員だけが共有したい場合は、公開しない場合もあり得ます。

- 企業側は、最終的に入力したものが一覧となり、パッと見てこの生徒はどのランクなのかわかるものを求めている。個人が言葉で羅列しているのを見るのは現実的ではない。測定シートをまとめるシステムがないと意味がない。

江島回答：測定シートは、コメント欄に何かしら入力すれば添付できます。企業側も測定シートを閲覧することができるので、測定シートから学生の評価ランクなど一覧で確認することができます。

- このシステムの活用法が理解できない。このままだと、せっかく作ったものが活用されないと思う。どのように使うかももう少し明確にしてほしい。
- 最終的に測定シートの自己評価書というのはこのシステムで見ることができるのか？

江島回答：このシステムでは見ることはできません。このシステムの目的は、テキストベースで学生が入力したことに対して先生がコメントするというコミュニケーションツールと考えています。

これだけの項目があったときに、学生がまじめに考えて自己評価の結果を入れて、先生が答えるというのは良いことだと思います。そのためのツールとしての利用はできると思います。

- 生徒本人の考えるきっかけにもなるし、建設に対する興味を自分の言葉で表現することにも繋がるので悪いものではないと思うが、そのときにこれ(学習成果指標)はどこにいったのか？という疑問が残る。

江島回答：結論としてマハラというありものを利用した結果こういうシステムになりました。

- 総合的な評価として、この生徒がどういうことに長けているなど、教員のコメントがあると企業側は良い。指標がはっきりとしてくると、どういう生徒かわかりやすい。現段階では、どういう生徒なのかわかりにくい。まだ、最後まで入力していないので、漠然としてわかりにくいのか？

江島回答：そのとおりです。7～8人分のデータを入力していただくとわかりやすいと思います。1校あたり2、3人入力してもらい、稲沢さんに意見を言っていただくというのが今年度の形かなと思っています。

- 実証実験の期間は？

江島回答：秋～今年度の終わりまでと考えています。

- 入力を協力するにあたり、担当する教員と学生に説明してほしい。

江島回答：事務局で準備します。

- 今年度の最終的なゴールは？企業が人材獲得につながるシステムは先の話なのか？

江島回答：実践的なレベルは今年度の事業には入っていないため、その先は、来年度引き続きできれば良いと考えています。

- 学生自身が自己評価をしてみて、どうだったのか？という意見を聞くのは必要だと思う。

江島回答：その通りだと思います。

- 最終的には、こういう能力がある学生がほしい、というのが企業と学校で合致できるシステムになるといい。

違う分野が共通で使えるシステムにし、同じ土壌に上げているのは評価できる。

入力説明会について

- ・候補日 10 月 15 日(土)午前 もしくは 10 月 29 日(土) ※後日日程調整
- ・時間は 1～1 時間半を予定
- ・オンラインにて実施予定 (Zoom)
- ・1 校につき 2～3 名募集
- ・事前に協力いただくための概要をまとめた案内文を事務局にて作成する。
(マニュアルと一緒に鏡文として配布いただく)

3-3 実証実験講座の実施

第1回分科会の議論を経て、実証実験講座を次のように実施することとした。
実施にあたっては、巻末にある資料1のような案内を作成して被験者に配布した。

■美容分野…2022年10月25日（ハリウッド美容専門学校）

<https://youtu.be/hPlecaWsCM8>

The screenshot shows a web application interface. On the left, there is a sidebar with a table of contents for 'レベル4のイメージ' (Level 4 Image). The table lists various topics and their scores (0). The main content area is titled 'アノテーション: SNSによる疑似集客体験' (Annotation: SNS-based simulated customer acquisition experience). It includes a 'ブロックタイトル' (Block Title) field, a 'タグ' (Tag) field, and a '標準' (Standard) dropdown menu. There are also checkboxes for 'フィードバックを許可する' (Allow feedback) and '格納' (Save).

■美容分野（追加実施）…2023年2月15日（ハリウッド美容専門学校）

https://youtu.be/G37_wKkqKb4

The screenshot shows a document titled '2022年度美容分野美容師職種学修成果指標レベル4' (2022 Beauty Field Cosmetologist Job Training Achievement Indicator Level 4). It is by '学生08 ハリウッド2022' (Student 08 Hollywood 2022). The document lists the '美容分野美容師職種学修成果指標レベル4' (Beauty Field Cosmetologist Job Training Achievement Indicator Level 4) and includes a list of learning objectives and a profile of the student.

■ ゲーム・CG 分野…2022 年 11 月 16 日 (ECC コンピュータ専門学校)

<https://youtu.be/p0ZlebwTYxU>

competency.qaphe.com/module/framework/matrix.php?id=617

ECCコンピュータ専門学校
ECC COLLEGE OF COMPUTER AND MULTIMEDIA

人を探す

あなたガスマークエディタスマップに表示させたい場合、さらにこのコレクションにページを追加できます。

ゲーム・CG分野ゲームクリエイター職種学修成果指標レベル5

知識と理解		
プログラムに必要な数学・物理	0	○
ゲーム個人制作	0	○
モバイルゲームアプリ制作知識	0	○
企画書個人制作	0	○
CG個人制作(ポートフォリオ制作)	0	○
汎用的な技能		
制作スケジュールの立案	0	○
自己作品のアピールのためのプレゼンテーション能力	0	○
企画提案力・企画修正力	0	○
専門実践技能		
ゲーム物理(リアル表現)	0	○
描画エンジン制作	0	○
ゲームAI技術とアルゴリズム	0	●
サウンドエフェクト、3Dサウンド	0	●
モバイルゲーム開発技術	0	●

ECCコンピュータ専門学校
ECC COLLEGE OF COMPUTER AND MULTIMEDIA

人を探す

開始/終了日のオーバーライド

必要であれば、あなたは開始日および終了日をオーバーライドできます。仮に他のアクセス権を与えたとしても、他の人は開始日以前および終了日以降にあなたのページを閲覧できません。

アクセス開始日時

フォーマット YYYY/MM/DD HH:MM を使用する

アクセス終了日時

フォーマット YYYY/MM/DD HH:MM

共有対象

FROM TO

compecc-game-2022-

グループ

検索

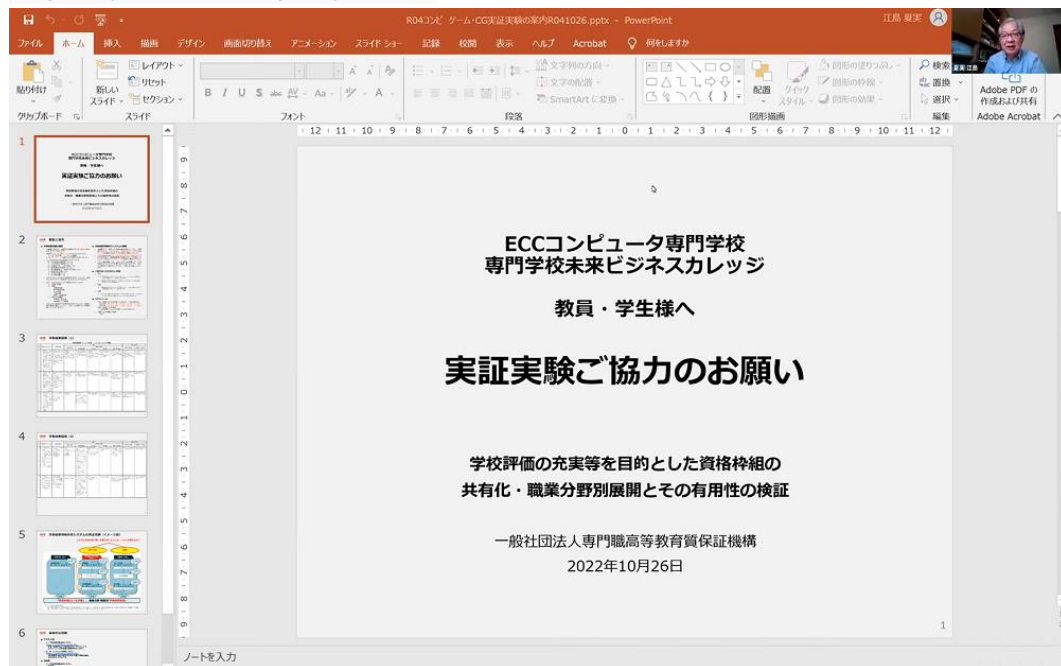
共有対象

誰と共有しますか?

保存 キャンセル

■ ゲーム・CG分野…2022年11月18日（専門学校未来ビジネスカレッジ）

<https://youtu.be/sVpsNysciNM>



■土木・建築分野…2022年10月15日（修成建設専門学校、東海工業専門学校金山校）

https://youtu.be/RYQoTP0_Mo8



令和元年度文部科学省 専修学校による地域産業中核的人材育成事業 56 / 112 100% + 共有

4.2.2 学修成果自己評価の修正

入力を完了した学修成果の自己評価を修正する機能は、Mahara には存在しない。
 学修成果の自己評価の修正は、入力した自己評価に対して「フィードバック」に補足説明を追加することで、実質的な修正を行う。
 ※2021年10月1日現在の Mahara Ver.21.04 での仕様

① 学修成果指標から自己評価の修正を行う成果指標を選択

49

評価状況が自己評価入力済(輪郭が青い白い丸)の学修成果指標の中から、自己評価の修正を行う学修成果指標の評価状況(輪郭が青い白い丸)をクリックする。

認定動物看護課程学修成果指標レベル4		
知識と理解	修正を行う評価指標を選択	☐
動物形態解剖学	0	☐
動物医療関連法規	0	☐
公衆衛生	0	☐
動物管理	0	☐
動物臨床検査	0	☐

■土木・建築分野…2022 年 10 月 20 日（中央工学校）

<https://youtu.be/jvDaHLbV3-w>

The screenshot shows the Chuo University website. At the top, there is a navigation bar with the university's name and a search bar. Below the navigation bar, there is a banner for the 2022 Architecture and Civil Engineering field. The main content area is titled '私の共有' (My Sharing) and displays a list of documents. The documents are organized into a table with columns for 'コレクション名' (Collection Name) and 'アクセスリスト' (Access List). The documents are all titled 'chuoko-architecture-2022-demo (チューター)' and are accessible to the user. On the right side of the page, there is a sidebar with a user profile, a 'マイグループ' (My Group) section, and a 'リンクおよびリソース' (Links and Resources) section.

R04.12.17 土木・建築 学修成果測定ワークシート（ガイドライン準拠版）サンプル.xlsx - Excel

4 学修成果測定シート（2022） 土木・建築分野－土木施工管理職種

組織	ID	事務局で記録します	名称	サンプル	測定日付 (数字を編集してください)	2022/10/15
被測定者	ID	事務局で記録します	氏名	● ● ●	実務経験	0年
測定者	ID	事務局で記録します	氏名	● ● ●	役職	教員

測定基準

- 100点満点評価の場合
A:80点以上100点以下 B:70点以上80点未満
C:60点以上70点未満 D:50点以上60点未満 E:50点未満
- 主観的測定の場合
A:大いにそう思う B:そう思う C:だいたいそう思う
D:そう思わない E:まったくそう思わない

区分	測定項目	補足説明	評価					測定者 フリーコメント
			A	B	C	D	E	
知識と理解	技術士補	取得した場合当該レベルとみなされる 目安	1					お陰様で、技術士補の資格 を取れました。 自己評価では取れそうです が、まだ取っていません
	測量士補	取得した場合当該レベルとみなされる 目安			1			

なお、美容、ゲーム・CG、土木・建築の各分野では、学修成果測定ワークシートを、各分野の特性に合わせて、使用したり、使用しなかったりした。以下は、そのまとめである。

	美容	ゲーム・CG	土木・建築
日付	10月25日 ハリウッド 2月15日 ハリウッド	11月16日 ECC 11月18日 未来ビジネスC	10月16日 修成、東海工 10月20日 中央工学校
学修成果 測定ワーク シート	使用 操作方法の修得を念頭に、美容以外の知識項目は予め入力内容を指定した。(次図参照)	使用せず 入力内容はまったくフリー	使用 ただし、入力すべきものは自身で考えさせた

美容分野で使用した学修成果測定シート

4 学修成果測定シート (2022)

美容分野-美容師職種

組織	ID	事務局で記録します	名称	ハリウッド美容専門学校			測定日付 (数字を編集してください)	2022/10/25					
被測定者	ID	事務局で記録します	氏名	サンプル	実務経験	0年	数字のみ記入。学生は記入不要	測定基準	●100点満点評価の場合 A:80点以上100点以下 B:70点以上80点未満 C:60点以上70点未満 D:50点以上60点未満 E:50点未満 ●主観的測定の場合 A:大いにそう思う B:そう思う C:だいたいそう思う D:そう思わない E:まったくそう思わない				
測定者	ID	事務局で記録します	氏名	● ● ● ●	役職	学生							

区分	測定項目	補足説明	評価					測定者 フリーコメント
A	B	C	D	E				
知識と理解	国家試験実技課題(カット、ワインディング、ウェーブ)の理論と学科課題の学修							
	毛髪診断							
	ケミカル(基本)	・シャンプー剤/トリートメント剤 ・カラー剤 ・パーマ剤 ・スタイリング剤 ・ヘアケア剤						
	SNSによる疑似集客体験							
汎用的な技能	知識や、よく知っている手法、スキルを活用して、定型的任務/学習の予測できる問題を解決する技能		1				Bよく知っている手法を他に応用することは得意だと思っています。	
	国家試験実技課題(カット、ワインディング、ウェーブ)の学修							
	ベーシックカット技術の修得	1						
	パーマ基本技術の習得							
	カラーリング基本技術の習得							
	望まれる学習成果を修得する為、先生や両親など進路相談をする関係者と信頼関係を築く能力		1				B信頼を築くための不断の努力を欠かしていません。	
	職場で必要な対人関係構築能力を習得するため、同級生、先輩、後輩と良好な関係を築くコミュニケーション能力		1				B同級生とのコミュニケーションは上手にできていると思っています。	
	資料作成及びプレゼンテーションスキル(PCやスマートフォンなどを使用したSNS投稿技術なども含む)		1				Aプレゼンテーションスキルには自信があります。	
	最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をする能力		1				B自主的に仕事をするほうだと思います。	
	学習/仕事の枠内で、相手に助言を与える能力			1			C助言を与えられるほどの努力には自信がありません。	
自律性と責任感	言葉に対する意欲及び責任感		1				B意欲はあるほうです。	
	知識及び技術的経験を修得するための問題解決に取り組む姿勢		1				B問題解決のため毎日努力しています。	
	国家資格を取得し、美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚と自尊心、仕事に対する情熱		1				B美容師免許を取得して自尊心と情熱をもって仕事に取り組んでいます。	
倫理観とプロ意識	社会的規範を理解し、社会及び学校生活を送るにあたり、コンプライアンス意識を持った行動		1				Cそういう行動ができているかという自信がありません。	

※■動物分野…2022 年 12 月 17 日（宮崎ペットワールド専門学校）、
2022 年 12 月 23 日（大宮動物専門学校）

※動物分野に関しては、第 1 回分科会以降、学修成果評価シートの使用を膨らまして、
もう一度、それを使用した実証実験にしたいとの要望があり、第 2 回分科会を先行して
開催し、その方法等について協議した。以下はその議事録である。

会議名	第 2 回動物看護師分野分科会（コンピテンシー）
開催日時	2022 年 11 月 24 日（木）13:00～14:30
場所	オンライン開催（Zoom）
出席者	下藺、坂元、横田、山下（敬称略） 事務局：江島

山下先生より学修成果指標ワークシートの修正内容についてご説明いただく。

- ・【測定項目】それぞれの区分から代表的なものを選び、5 つの区分から 5 項目を選択
- ・【補足説明】測定項目の補足説明を追加
- ・【評価時に参照する該当授業科目】測定項目の学習した科目名を追加
- ・【該当授業科目の履修歴チェック】チェックの基準（A～E）を追加
- ・【履修歴自己評価のためのチェック項目概説】は、【該当授業科目の履修歴チェック】の内容についての詳しい説明
- ・【教員の評価】現段階では、A～E として、C を合格点（本試験の基準 70 点）にあてている

<本日の検討事項>

- ・教員の評価の仕方を検討
- ・学生の自己評価のチェック基準は適切か
- ・測定項目が適切か
- ・実際に施行する方法、時期について

<打ち合わせ内容>

- 学生の自己評価のチェック基準は適切か？
⇒事前に打ち合わせして決めたため、特に問題ないと思う。
- 教員の評価の仕方については？
⇒ 2 枚制にし、~~教員の評価については、学生と同様の測定項目を入れる。~~

↓

学生用自己評価シートのフリーコメント欄の横に追加する。に変更

- 小項目【該当授業科目の履修歴チェック】が、例えば ACD とばらけた場合、総合評

価【学生の自己評価】はどのように評価するか？

⇒小項目【該当授業科目の履修歴チェック】は履修したか、していないかのチェックのみにする。

学生：【該当授業科目の履修歴チェック】で履修のチェック、【学生の自己評価】でA～Eの自己評価をする。

教員：【該当授業科目の履修歴チェック】で履修のチェック、【教員の評価】は試験の結果を元にA～Eの評価をする。

- 現在の【測定項目】は、28項目の中から5項目選び掲示している。測定項目数は増やした方が良いか？

⇒江島回答：すべての【区分】から1つずつ掲示していただく。

- 実証実験はいつまでに終わる必要があるか？

⇒江島回答：アンケートも含め1月末までに終わっていただきたい。

⇒坂元先生：1月は国試で時間が取れないため12月で考えている。

《決定事項》

- 本日決定した内容を「学修成果指標ワークシート」に反映していただく。(山下先生)
- 実証実験後のアンケートの内容をお考えいただく。(下菌先生)
- マハラに应用できるかどうか検討する。(江島)
- 次回分科会は、1月開催予定。(日程はメールにて調整)

※動物分野において使用した学修成果測定ワークシート

5 学修成果測定シート (2022)										動物分野－認定動物看護師職種								
測定基準		測定日付 (数字を編集してください)										学生氏名		教員氏名				
「評価」の欄には、次の測定基準にしたがって、A～Eのいずれにあたるかを評価し、該当する行の該当する列に1を入力してください(未修項目の場合「未」の欄に1を入力してください)。 ●100点満点評価の場合 A:よくできている B:できている C:まあ D:やや努力が必要 E:できない ●主観的評価の場合 A:大いにそう思う B:そう思う C:だいたいそう思う D:そう思わない E:まったくそう思わない		12.19										柳田志保		川越 隆				
区分	測定項目	補足説明 測定項目の理解に必要な説明	学生の自己評価					評価時に参照する該当授業科目	履修歴自己評価のためのチェック項目概説	教員の評価								
			チェックの基準							チェックの基準								
			A	B	C	D	E			A	B	C	D	E	未			
知識と理解	■疾患種類、対象動物の性質	動物看護を実践するためには獣医学的知識を持ち、診断された疾患の内容を理解した上で看護実践をする。看護は個々の動物の状況に合わせて対応が必要であり、その状況は飼育環境、飼育者の考え方、種類、多様性のある動物の性質によって変化することを理解する。			1				動物臨床看護学名論	①病態生理 □ 履修 □ 未履修 ②代表的な犬・猫の疾病の症状、必要な処置、治療の基本的知識 □ 履修 □ 未履修 ③機能障害を持つ動物の看護について □ 履修 □ 未履修 ④臨床検査 (臨床検査、呼吸器疾患、栄養代謝性疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、内分泌疾患、生体組織疾患、整形外科疾患、皮膚疾患、神経疾患、眼疾患、造血器疾患、腫瘍、免疫介在性疾患、感染症、救急疾患)	①病態生理 →発病時、身体機能がどのような状態になっているのか、異常を起している原因はなにかという点。 ②代表的な犬・猫の疾病の症状・必要な処置、治療の基本的知識 →代表的な疾病の症状がわかり、必要な処置を理解することにより看護計画に活かす。また、獣医師による治療の基本的知識を理解し看護計画に活かす。 ③機能障害を持つ動物の看護について →各器官系の特異的な機能障害を知り、必要な情報を修得することによって看護実践に活かす。							60

動物分野の問題意識としては、「自己評価の方法をあいまいにしないことをめざす」という点にある。そのことが、このような細かな記述になった要因である。

3-4 実証実験講座の結果(意見聴取)

実証実験講座を行った結果に基づき、講座を受講した学生および教員に対して意見を聴取した。意見聴取項目は次のとおりである。

(美容、ゲーム・CG、土木・建築の各分野)

- ・実証実験で試したレベルの適切性
- ・学修成果情報共有システムの操作性
- ・学修成果情報共有システムの意義

(動物分野…対学生)

- ・自己評価の容易性
- ・自己評価の役立ち

(動物分野…対教員)

- ・自己評価の評価
- ・就職活動に活かせるか

■ 分野ごと・意見項目ごとの回答結果の傾向 (学生)

項目	美容	ゲーム・CG	土木・建築
レベルの適切性	多くが「適切」と回答	一部、「わからない」がいたが、他は「適切」	「適切」「適切でない」がほぼ同数
システムの操作性	「使いやすい」が60%も、「わからない」も多数	「使いやすい」:「使いにくい」が1:2	「使いやすい」:「使いにくい」が3:7
意義	「意義深い」が多いが、「わからない」も多い	一部、「わからない」と回答も、他は「意義深い」と回答	「意義深い」:「意義を感じない」:「わからない」が2:1:2
自由意見	学生と教員の「コミュニケーションツール」としての役立ちに期待する声が主体も、実証実験の意義に対する懸念の声も	「学修レベルやポイントがわかってよい」というポジティブな評価が主体。修正のしにくさを訴える声も	「自己評価、他者評価を確認できるよい機会」ととらえる反面、「やり方が難しい」「実用性がない」「操作確認がしにくい」などの声も

- ・美容分野は入力量が少なく、システム本来の機能に気が向いていたため、基本的にポジティブな回答であったと思われる。
- ・ゲーム・CG分野は使いにくさを訴える声があるものの、意義深さを感じている傾向である。

- ・土木・建築分野は「スタートまでに手間と時間がかかった」や「前述が長い」など、事務局の段取りに関する意見があり、システムの本質を考える時間に乏しかったことが、ネガティブな回答につながっている側面もあると思われる。

■ 分野ごと・意見項目ごとの回答結果の傾向（教員）

項目	美容	ゲーム・CG	土木・建築
レベルの適切性	全員が「適切」と回答	「適切」：「適切でない」：「わからない」が 1：1：2	「適切」：「適切でない」：「わからない」が 1：1：2
システムの操作性	「使いやすい」と「わからない」が1：1	全員が「使いにくい」と回答	全員が「使いにくい」と回答
意義	全員が「意義深い」と回答	「意義を感じない」：「わからない」が1：1 「意義深い」はゼロ	「意義深い」：「意義を感じない」：「わからない」が2：1：1
自由意見	「今後活用していけると、とても対効果を得ることができる」「学生とのコミュニケーションの即時性と時系列での参照可能性がよい」と回答	「評価側の教員のレベルの証明が必要」、「作品を見せるなどのプロセスがほしい」、「何とか見える化を実現できないか」など	「全体に操作が難しい」、「もっと簡素化できないか」、「簡易に利用できるように改善すれば非常に良い」など

- ・美容分野は前述の通り、入力量が少なく、システム本来の機能に気が向いていたため、教員もポジティブであった
- ・ゲーム・CG分野の教員は自身のレベルに言及するなど、率直にシステムと向かい合って機能を見つめていただいた。今回は時間の関係で省略したが、画像を提出する機能も有しており、そのような局面を取り扱う必要性も感じられた。
- ・土木・建築分野の教員は「意義深さ」を感じつつも、全体に操作が複雑で、簡略化への期待が感じられる。

■ 動物分野の回答傾向（学生）

項目	動物（学生）
自己評価の容易性	「容易だった」と「難しかった」が半々
難しい理由	・自己評価の判断が難しかったとの回答が半分。 ・履修したことを思い出すことが難しかったとの回答が半分

自己評価の役立ち	「役立った」：「役に立たなかった」＝5：2
役立ち の理由	・全員が「履修したことを確認できて自信に繋がった」と回答 ・「就職活動などで自己アピールできると思った」はゼロ回答

■ 動物分野の回答傾向（教員）

項目	動物（教員）
自己評価の評価に関して	「容易だった」と「難しかった」が1：2
容易の理由	・定期試験の結果が主体なので容易
難しいの理由	・基準がわかりにくい ・点数化するとわかりやすい ・担当していない科目がわかりにくい
就職活動に活かせるか	全員が「よいツールになると思う」と回答

- ・自己評価の方法をあいまいにしないことを目標とした改善を図ったが、情報量が増えたためか、飛躍的によい結果にはつながっていない。
- ・しかし、教員の、就職活動に活かす「よいツールになると思う」に現れたように、確実に、精度を増したツールになった。

3-5 第2回分科会の議論

以上の結果を踏まえ、動物分野を除く3分野について、第2回分科会を実施した。以下はその議事録である。

(1) 美容分科会（2023年1月26日）

会議名	第2回美容分野分科会（コンピテンシー）
開催日時	2023年1月26日（木）13:00～14:30
場所	ハリウッド大学院大学 図書室 一部オンライン開催（Zoom）
出席者	山中、川島、佐藤、小川、本田（オンライン） 敬称略 事務局：川口、江島、高橋、杉田

<打ち合わせ内容>

江島より：学修成果情報共有システム実証実験についてのアンケート結果を報告

- ・先生と直接つながっているの、相談しやすいと思いました！
- ・先生と生徒間の連絡ツールとして利用できたら便利だと思います。
- ・このシステムを利用して先生にわからないことを質問したり、生徒同士でいろいろなことを共有できるの、いいと思いました。
- ・一回記入したら直せないところが少し不便だと思います。
- ・一項目ずつチェックするのが先生の負担になると感じたため、全項目を確認してからチェックを押すようにできればと思いました。
- ・普段聞けないことや知りたいことを、共有して見ることができるシステムがもっと普及すれば、みんなの記述も向上していくと思いました。
- ・学校に直接行かなくても相談事や意見を言えるのがよいと思いました。
- ・現状では先生や生徒が忙しくなかなか時間が取れないので、このシステムを使って個人情報など周りに知られたくないことを、先生と二人でやり取りできるのが良いと思いました！
- ・このようなシステムを今後活用していけると、とても効果を得ることができると感じました。

以上。非常にポジティブな意見が多く聞かれた。

委員からの意見

●アンケートのサンプル数が少ないのでは？

⇒江島：今回は基礎調査という位置付けで、しっかりと回答してくれる生徒に絞ったため少人数になった。今後、対象者を増やすことを検討する。

- システムで登録した内容がデフォルトでどこまで公開されるのか、あらかじめ使用者側に把握させる必要があると思う。
- システムを使って自分の作品を画像で公開できる仕組みがあると良い。
⇒今後、視覚的に見せられることも課題としていきたい。
- 各学校がコロナ禍で既にリモートを効率化するためのシステムを導入している。今後、学修成果情報共有システムを導入してもらうためには、企業側に見せることができることなど、他との差別化を図りアピールする必要があると思う。
- 今後、美容学校や企業へシステム検証を依頼する際、QAPHEの事業内容がわかる説明書類を作成してほしい。

(2) ゲーム・CG分科会(2023年2月1日)

会議名	第2回ゲーム・CG分野分科会(コンピテンシー)
開催日時	2023年2月1日(水) 14:00～15:30
場所	オンライン開催(Zoom)
出席者	宇佐見、丸山、徳留、望月(敬称略) 事務局:江島

<打ち合わせ内容>

江島より:学修成果情報共有システム実証実験についてのアンケート結果を報告

- 学生:使いにくい4名、使いやすい2名、わからない1名
意義深い多数、わからない2名
 - 教員:使いにくい、意義がないという意見が多かった。
 - 学生の感想
 - ・記入するために必要な情報をまとめておいて欲しかった。
 - ・自己分析ができて良かった。
 - ・自己評価と先生から見た自分の評価の違いを知ることができて良かった。
 - ・自己の学習レベルを主観的、客観的に測れる点が良いと思った。
 - ・勉強すべき点や自分のレベルがわかって良かった。
 - ・自己評価できる基準が明確ではないため、入力しづらかった。
 - ・入力したものを修正できない点や追記はコメントという形なのが非常に使いづらいと思った。
- ⇒システムが使いにくいという意見が多かったが、意義深いと回答してくれた学生が多く、ポジティブな感想も多くみられた。

<委員からの意見>

- 使う人に優しいシステムでなければ、なかなか受け入れられないと思う。
- 当初は学生と企業のマッチングが評価の主目的だったと思う。システムを使いづらいと思いながらも、企業側が学生の情報を見ることができたのであれば、主目的であるパイプラインになったと思う。システムは入れ替えればなんとでもなると思う。今後は、より使いやすくする必要があると思う。
- アンケート結果が多数であれば、総合的に判断できるが、少数のため判断が難しい。分野による評価の違いは、普段使っているシステムの差だと思う。使いにくい点を洗い出し、改善点を示すことができれば、目的は果たせていると思う。
- 3年間でここまでよく形にできたと思う。何のためにやっているのか意味を理解せず、意義を感じないという意見は残念だと思う。アンケートの感想はきついものもあるが、3年の成果は出たとポジティブにとらえている。
- 企業としてメリットがある取り組みだと思う。今後は、企業と学生が近くなるようなアイデアが必要だと思う。
- 実証実験前に、このシステムは、企業と学校の橋渡しの存在で、日本で勉強したことが海外ではどの程度通用するのか測れるシステムであると説明した。アンケート結果は、使いにくいという反面、意味を理解し取り組みの意義を感じてもらえたと思う。

⇒江島：今後は、運用に向けてシステムの使いやすさを改善する必要があると思う。

(3) 土木・建築分科会（2023年2月2日）

会議名	第2回土木・建築分野分科会（コンピテンシー）
開催日時	2023年2月2日（木）10:30～12:00
場所	ビジョンセンター品川 2F 206号室（品川）
出席者	堤下、松田、稲沢、野村（敬称略） 事務局：江島

<打ち合わせ内容>

江島より：学修成果情報共有システム実証実験についてのアンケート結果を報告

- ・学生：使いにくい7名、使いやすい3名

意義深い、意義を感じない、わからない それぞれ意見がわかれた。

- ・教員：使いにくい3名

意義深い、意義を感じない、わからない それぞれ意見がわかれた。

- ・美容は、あらかじめ入力内容を決めていたため評価が高かったが、ゲーム・CG、土木・建築は決めていなかったため、入力に迷ったため評価が低くなったと推測。
- ・美容は実証実験後すぐにアンケートを取ったが、土木・建築は時間が経ってから取ったため、ネガティブな印象が多かったのではと推測。

<委員からの意見>

●システムの成り立ちや経緯を知らない人が、はじめて触るツールとしてはわかりにくい。

●システム上で解決しなければならないものは、もっと簡単にしないと自主的に使用するようにはならないと思う。

●企業側が生徒を採用する場合、面談、履歴書、試験で判断する。エントリーシートの一つとして、このシステムが定着すれば活用されると思う。

●大学生のように個人が企業に直接エントリーするのであれば、自分を売り込むためのツールとして活用できるが、専門学校の場合は、学校対企業で採用するケースがほとんどのため、活用するのは難しい。

●美容分野は、個人が企業に直接売り込むことがあると思うので、システムを活用できると思う。ただ、すべての分野で活用するのは難しいと思う。

●自己評価するためのシステムとしてはいいが、企業側にアピールするものとしてすべての分野を一本化して活用するのは難しいと思う。

●専門学校はさまざまな分野があるため、それぞれの分野に置き換えて作成するとなると、膨大な作業量が必要になり現実的でないと思う。

●違う分野の共通項を見出してきたのは評価できるが、実用化するのは難しいと思う。

⇒江島：マハラのシステムとして必要なものを揃えることはできたが、分野ごとの違いを揃えるまでには至らなかった。今後は、使いこなす条件を揃える必要があると思う。

3-6 企業からの意見

実証実験の様子はすべて映像に撮り映像で共有できるようにした。その映像の様子および資料2「ポートフォリオ検索システムのマニュアル」に示した情報公開方法について、企業出身の分科会委員に参照していただいた。その結果をもとに主に次のような観点から意見聴取を行った。

(美容・ゲーム・CG、土木・建築の各分野の場合)

- ① 学修成果指標共有システム（mahara）に関する操作性の印象
- ② ポートフォリオ検索システムに関する操作性の印象
- ③ 学修成果指標共有システムとポートフォリオ検索システムを使った仕組みの意義
- ④ 適当な人材調達の手段になるか

① について

- ・操作性については多機能なので、印象がよくない（「使いづらい」という回答が多い）のは当然である。

- ・文章が多いので、読みづらいという印象があるのではないか。

など、学生や教員が訴える「使いづらさ」の要因について語った意見が多く見られた。

一方で、

- ・多機能であるが、統一したレベル設定に基づくすばらしいシステムであり、もっと普及を図ってほしい。

- ・情報セキュリティにも配慮したシステムであり、使いこなすが必要。

といったポジティブなご意見もいただいた。

② について

- ・ホームページの編集をしなくてはならない部分がどうにかならないか。WordPressはメジャーなホームページ編集ソフトであるが、やはり、共通に使うのは難しい。

- ・WordPressは使ったことがない。

などホームページ編集をしなければならないところで躓く可能性を示唆した意見が散見された。他の多くは肯定的な意見であった。

③ について

多くの方が「意義は深い」ことを示唆した意見であった。特に、資格枠組のレベル定義と整合を図った点が評価されている。ただし、学修成果指標については、多種多様な意見があるようであった。

④ について

システムとしては十分人材調達手段になりうるとの意見が多かったが、企業の方から見ると人材調達の最上流のポジションにあるので、「普及が課題」という意見も合わせて多かった。

(動物分野の場合)

- ① 学修成果の自己評価システムが採用時に役立つか？
 - ・役立つと思う、役立つのは難しいと思う、いずれの場合もその理由
 - ・さらに有効活用するにはどのように工夫すればよいか
- ② 学修成果の自己評価システムが実習受入時に役立つか？
 - ・役立つと思う、役立つのは難しいと思う、いずれの場合もその理由
 - ・さらに有効活用するにはどのように工夫すればよいか

動物分野においては、日本動物看護職協会の方に対して意見聴取のご協力を求めたが、①、②いずれの場合も意見が分かれた。

まず、①について「役立つ」と思われた理由として、「現在の学内での履修内容については、修学歴を持つ現職者であっても卒業から年数を経るとイメージしにくく、また獣医師にとっては触れる機会の少ない情報であることから、履修内容と達成度を細分化して明記してあることが採用の判断材料として有用だと感じた。」を挙げることができる。

この回答者は、さらに有効活用するポイントとして次のことを挙げている。「採用におけるポイントは知識技術の他に「人間性」が重要事項であり、このワークシートと合わせて学生本人により得意とする分野、興味の高い分野などを記載できる書式があると判断材料として活かせる考える。いわゆる履歴書の自己アピールの記入スペースでは情報が足りないことがほとんど。」

一方、「役立つのは難しい」と思われた理由として、「自己の評価、学生自身がコンピテンシーを考える上で教職員の先生の評価も入るので良いツールだと思います。そして、学校の先生が自身の学校の生徒は優秀ですというデータを提示してもらうのは1つのアピールですし、採用・実習受け入れにおいて参考にはしますが、重要にはならないので難しいと判断します。採用・実習受け入れの基準は動物病院によって様々だからです。」を挙げることができる。

この回答者は、さらに有効活用するポイントとして次のことを挙げている。「採用についてあれば、表現が良くないかもしれませんが、就職してからすぐに何ができるのか？生産性がとれるのか？を雇い主は聞きたいと思います。もちろん、学校でどんな知識を学んでいるのか、基礎知識はあるのかも大切です。それをどう活かせられるのかはある意味、一緒に働いてみないと分からないよねってなります。そう考えると、学生個々の得意分野や専門的なことやりたいからマニアックなこと勉強してます、などの人間性が視えるところがあると面白いと感じます。」

次に、②について「役立つ」と思われた理由として、「履修内容、到達度が明記されていることで、実習においてどこまでの実践を期待したらいいのかを判断できる材料となる。」を挙げることができる。

この回答者は、さらに有効活用するポイントとして次のことを挙げている。「各学年ごとに、

策定したカリキュラムを提示していただくとともに、更に対象学生の修学度に応じて、学校としての到達目標、学生自身の到達目標が記載されていると、当該実習期間の業務の中で、できる限りそれに沿って経験させることが可能になると思われる。」

一方、「役立つのは難しい」と思われた理由として、上記と同様、基準が動物病院によってさまざまである点が挙げられていた。

この回答者が、さらに有効活用するポイントとして次のことを挙げている。「実習受け入れではそれこそ、動物病院側の受け入れる体制がどの程度なのか？が標準化していないし、もしかすると今後スタッフ不足なので実習生お客様扱いになっている動物病院は増えるかもしれません。そういう現状でのツールのあり方はどんな分野を現場で学びたいのか、または学ばせたいのかだと思います。学生自身が不足していると感じている部分と先生が不足していると感じている部分にはおそらく感覚のズレも生じることがあると思います。そこで学生自身に客観的に自分はこういう経験がしたい、とか指導者の先生がこの子はもっとこういう経験をさせてあげたい、とかがあれば、現場の指導も混乱が少なくて済むのではないかと思います。」

3-7 まとめ

前節で述べたことをもとに、今後どのようにすればよいかなども合わせて考えた結果をまとめると次のようになる。

■レベル感と意義

- ・学生には最も自身に合ったレベルを指定したが、概ね、そのレベル感は適切であった（特に、学生自身から見て）。これは学修成果指標の適切性を示している。
- ・システムの意義も、概ね、感じられた（特に、学生から見て）。

■教員のほうが学生よりも回答がネガティブ

- ・教員は事前にシステムを見ることなく、一方で、研修が同時進行であり、かつ、システム仕様が大きいと感じられるので、教員らしさを発揮できなかったため、回答が相対的にネガティブになったと思われる。

■実際の事例の適用

- ・「美容」分野では、入力事例を与えて、残りの部分を考えさせる方式にした結果、全体に、取組に対する意欲が増したように思われる。
- ・特に、最初の段階では、実際の事例を適用することによって、全体的な勘所を養う工夫が有効ではないかと思われる。

■画像の活用

- ・自由意見の中にあった通り、画像の活用を図ることによって、視覚に訴える工夫ができることを伝える教材の開発などが有効と思われる。

4 公開シンポジウム

本年度事業では、「国際的に信頼される専門職高等教育をめざして」と題する公開シンポジウムを、次の要領で実施した。

日 時：2023 年 2 月 7 日（火）

場 所：ハリウッド大学院大学

参 加：会場参加またはオンライン参加

参加人数：約 100 名（会場参加約 20 名、オンライン参加約 80 名）

プログラム：次ページのとおりに



公開シンポジウム 「国際的に信頼される専門職高等教育をめざして」

主 催：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構
ハリウッド大学院大学
共 催：大学マネジメント研究会

日 時：2023年2月7日（火）午後1時30分～
場 所：ハリウッド大学院大学
参加費：無 料

開会挨拶：上杉道世（大学マネジメント研究会副会長）（1:30～1:40）

演題と講演者

専門職高等教育の質保証 — 教職協働とマネジャー・ディベロップメント —
川口昭彦（一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 代表理事）（1:40～2:10）

DX時代の高等教育 — アクティブラーニングとポートフォリオ —
栗田佳代子（東京大学大学院教育学研究科 教授）（2:10～2:40）

職業実践専門課程を通じた専修学校の質保証・向上の推進について
船木茂人（文部科学省 総合教育政策局生涯学習推進課室長補佐）（3:00～3:30）

コロナ禍を超えて専門職高等教育の発展をめざす — 日本語教育施策の動向からの考察 —
圓入由美（文化庁 国語課課長）（3:30～4:00）

パネルディスカッション（4:10～5:30）：
栗田佳代子（東京大学）、船木茂人（文部科学省）、圓入由美（文化庁）、
山中祥弘（メイ・ウシヤマ学園理事長）、川口昭彦（ファシリテータ、QAPHE）

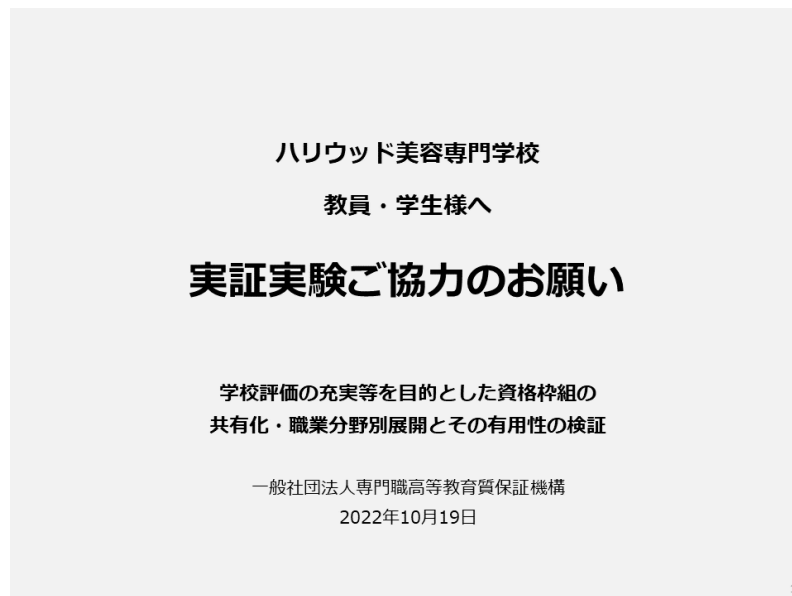
総会司会および閉会挨拶：外山公美（一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 調査研究部長）

文部科学省「令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業」の支援
により開催

- ▶ 参加申込フォーム：<https://qaphe.com/seminar/futureevent/20230207publicsympoentry/>
- ▶ お問合せ先：jimukyoku@qaphe.com 宛に、メールにてお問い合わせください。

国際シンポジウムで配布した資料については、本事業成果報告書とは別に、本事業の成果物として事業成果ホームページに提示する。

資料 1 実証実験で受講者に示した資料²





趣旨と目的

- 学修成果指標の構築
 - 本事業の目的は、国際的に通用する学修成果指標を作成することにあります。
 - 国際的には、8段階のレベル分けがなされており、美容分野 — 美容師職種について、3ページ以降に示す指標を作成しました。
 - レベルは次のように標準化されています。
 - 8…大学院博士課程修了レベル
 - 7…大学院修士課程修了レベル
 - 6…高度専門士、大学卒業レベル
 - 5…専門課程3年制修了レベル
 - 4…専門課程修了、短期大学卒業レベル
 - 3…高等学校卒業レベル
 - 2…中学校卒業レベル
 - 1…小学校卒業レベル
 - このようにレベル区分を標準化することにより、国際的にわかりやすい指標を作成することができます。
 - また、属性も次のように標準化されています。
 - 知識と理解
 - 技能
 - 汎用的技能
 - 専門実践技能
 - 対人技能
 - 分析技能
 - 管理・指導技能
 - 責任と自律性
 - 自律性と責任感
 - 倫理観とプロ意識
 - このように属性区分を標準化することにより、知識と専門技能に偏ることなく、バランスの取れた人材像を描くことができます。
- 学修成果情報共有システムの構築
 - 本事業では、構築した学修成果指標をベースに、学修者が自身のレベルを登録し、教員に報告して承認を得て、その結果をWebにする仕組みを構築しました。
 - この仕組みを通じて、専門学校の学生と企業の間で情報共有を図り、就職活動等で利用することを想定しています（考え方として6ページの図をご参照ください）
 - この「実証実験」は、このシステムを利用して、その効果があるかどうかを確かめるためのものです。ぜひ、この趣旨にご賛同をいただき、ご協力をお願いいたします。
- ご協力をいただきたい内容
 - 学生
 - ① 学生用のアカウントでログインし、レベル4に関する自己評価をして、教員に提出する。
 - ③ 教員の評価に基づき、自身のレベル4チェック結果をWebページに公開する。
 - 教員
 - ② 教員用のアカウントでログインし、上記で提出された評価結果に対して、判定を下す。
 - 企業
 - ④ 上記で公開されたWebページをご覧いただき、このシステムに対する評価をアンケート形式で回答する。
- スケジュール
 - 学生・教員に対する研修
2022年10月25日（火）10:30～12:00 オンライン
 - 学生・教員による評価
上記研修後、およそ1か月（11月中旬まで）
 - 企業による利用と評価
11月中旬～12月中旬

² 例として美容分野のものを示す。

学修成果指標（1）

学修成果指標（美容分野 - 美容師職種）

		技能				責任と自律性			
レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識	
				専門実践技能	対人技能	分析技能			
8	- 独創的かつ革新的な美容サービスの研究・創造 - 付加価値の高い美容サービスの開発・マネジメント - 美容業界を代表する形での成果の表出 ★レベル6のイメージ - キーワード：革新、独創、最先端、マネージャー、マネジメント	- ビューティビジネスの諸領域と学際的交流を図ること可能な限り美容サービスの開発・マネジメント ・ 販路・分譲 ・ 販路・分譲 ・ IT ・ その他関連領域 - 美容分野、美容関連分野における有力な業界団体との知識（経理・会計・法務・マーケティングなど） - 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案を図るための知識（経理・会計・法務・マーケティングなど）	美容分野の最先端にある新しく複雑な概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する技能。また、既存の概念や業務の高度化を図る技能。	- 独創的かつ革新的な美容サービスの研究・創造 - 付加価値の高い美容サービスの開発・マネジメント技能 - ビューティビジネスの諸領域と他領域の学際的研究とその成果の実現 - 組織的な研究活動の実践	美容分野、美容関連分野における有力な業界団体との交流	- 研究・実践活動の質を高めるために、既存の手法/方法論を利用/選択/改善する。あるいは適切な新しい手法/方法論を開発 - 美容サロンの経営分析などにおいて、数値データや図表データの批判的評価	- 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案 - 美容サロンの適切なP&Aサイクルの実践 - 組織的倫理観のリーダーシップ	- 自分自身の仕事について、全面的に責任を負う責任感 - 必要に応じて、所属する組織の運営管理全般に対する説明の責任感 - 生涯学習に対する知覚と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合	- 組織的倫理観のリーダーシップ - 倫理上、職業上の新たな課題を見いだし、その複雑さや、美容分野における研究の進展や社会全体への影響の明確化 - 社会的、技術的、経済的発展に美容師の立場から貢献
	7	- 先進的な美容技術、美容サービスを備え持つ高度な知識、批判的思考、創造能力 - 先進的で高度な美容サービスを創造し、そのプロセスを適切に管理 - 美容サロンで生じる運営上の諸問題の解決 - 美容学校を卒業後10～15年が目標、指導や管理能力には経験やリーダーシップが必要だが、創造性が必要ない仕事。作品、サービスには創意や柔軟な思考が必要。 ★レベル6のイメージ - キーワード：管理、創造、先端、高度、アドミニストレーター	- ビューティビジネスの発展に必要な各領域の知識・美容市場動向 - 美容マーケティング・サービス産業特性 - ブライダルビジネス・ヘルステックビジネス・コスメティックビジネス・ファッションビジネス - 次の各領域に関する基礎的知識 ・ 美容サロンの起業・財務・経営計画 ・ ブランディング ・ 顧客視点経営	高度な技術、手法、技能を適用して、新しいアイデア/画期的な美容技術を開発するためのアプローチを幅広く、総合的に、知識を批判的・統合的に応用し、美容分野における複雑な課題に知覚し解決する諸技能（ハイレベルなクリエイティブ思考）	- 美容サロンの運営の実践技能 - 美容サロン経営のP&Aサイクル構築における組織的業務の実践 - ビューティビジネスの次の諸領域におけるビジネスの運営 ・ ブライダルビジネス ・ ヘルステックビジネス ・ コスメティックビジネス ・ ファッションビジネス	- 美容業界における多様な立場の人々、異業種の人々と円滑なコミュニケーションを行うことができ、その能力を活かして、協力しながら仕事を進めることができるチームビルディングの能力 - 自己理解と他者理解を両立させ、部下との適切なコミュニケーションを図る技能	- 美容サロンの運営に関する正確な現状分析とその結果に基づき基本的な詳細技能 - ビジネスを円滑かつ効率的に進めるために必要な、スマートフォンの活用技能	- 組織において、適切なマネジメントに結び付き、自主性、主体性、リーダーシップの発揮 - 複雑かつ予測がつかない状況下で、自分のチーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督・問題解決、人事・労務・作業管理 - 従業員のマナー・ビジョン・マネジメント	- 職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る考え方 - リーダーシップを発揮し、そのリーダーになったりすること - フィードバック・バランス感覚 - 自身のモチベーション・マネジメント

3

学修成果指標（2）

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能		
6	顧客を満足させるために必要な理論的・専門的知識、技能 革新的で創造性に富む高度な美容サービスの創造に必要な、広範囲で体系的な知識・技能 美容サロンの一員としての組織的対応と、そこで生じる広範囲な問題の解決 美容師としての誇りに裏付けられ、優れた指導力を駆使した後進の育成 顧客のニーズに合わせた施術と提案、顧客からの信頼の獲得 美容学校を卒業後5～10年を想定、スタイリスト歴2～10年程度の経験。 ★レベル6のイメージ キーワード 「教える」、「できる」、管理美容師、スタイリスト、トレーナー、インストラクター、問題解決能力	■カウンセリング理論 ■パーソナルケアとヘアデザインと毛髪状態に関する知識とパーソナル技術理論 ■カラーリングデザイン理論 ワンレン ロングレイヤー グラデーション ショートレイヤー	■美容師としての仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する能力 ■美容分野の知識の活用において知的主体性を発揮する能力 ■高いレベルで複雑な状況や多岐にわたるアプローチや自主性をもって、問題や課題を解決する能力 ■サービスの創造につながるクリエイティブ思考 ■広範囲な諸問題の解決に必要なレベルのロジカルシンキング能力	■カウンセリング実習 ■サロンで使われるヘアデザインの習得 今人気のヘアデザイン 若見えヘアデザイン 小顔ヘアデザイン 似合わせヘアデザイン ■中間管理職的なコミュニケーションや円滑なミーティングの実施に必要なコミュニケーションスキル ■ヘアケアデザイン シュッシュカット ミニカット 毛量調整 ①センダカット 質敏感覚 ②ロングカット ③ショコカット ④レイヤーカット ■カラーデザイン ダブルカラー グラデーションカラー ディップ・ダイ バレージージュ	■顧客との円滑なコミュニケーションの実践能力 ■円滑なミーティングの実施に必要なコミュニケーション技能 ■中間管理職的なコミュニケーションや円滑なミーティングの実施に必要なコミュニケーションスキル ■美容サロンの顧客管理に関するPCやスマートフォン等の操作（SNSの活用等） ■PCやスマートフォンを活用した「効果的で機能的な」プレゼンテーション技能	■多様な組織的役割や制約の下で、自主的に仕事を進め、各種業務管理でリーダーシップを発揮する能力 ■組織に対する適切な指導能力 ■組織の改善に対する業績の評価	■組織の一員としての責任感 ■自分や他者の業務について、相当レベルの責任感 ■美容師としての自覚と誇りを伴って後進の育成にあたる責任感 ■美容の社会的立場づけの正しい認識に裏付けられた美容師としての誇りを持った自己管理 ■自身のキャリアパスの明確化（キャリアディベロップメント） ■自身の活動を効率的にするタイムマネジメント ■自身に発生するストレスを軽減・コントロールするためのストレスマネジメント	■社会的・職業上の多様な環境や実務の中で、倫理観を遵守し、倫理上の課題を明らかにし、倫理観を持って決定し、美容師としての行動をする能力を発揮 ■地域や世界が抱える科学、技術、ビジネス、社会、環境の課題について、深い認識と意識 ■地域や世界で、持続可能な社会をつくるために美容師の立場から貢献 ■美容師として、専門職人として相応しい倫理的慣行や持続可能な慣行に従う能力	

4

学修成果指標 (3)

No.	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能		
1	● 英語科としての役割、授業に際するひととひとの知識の獲得 ● 英語科としての基本的な技能の獲得 ● 英語科の一員としての機能発揮 ● 英語科において必要となる職業英語、職業英語 ● 英語科を卒業後、3年程度後の英語科を想定、アシスタント、もしくはバイリンガルアドバイザー→1～2年 ● レベル別のイメージ「わかる」、英訳、ジュニアアシスタリスト	● 授業領域の知識 ● 現在の日本の英語教育の実情 ● 社会人と学生の違い ● 社会人の授業具現のつながり ● 的のたのびに仕事をするのか ● プロの意義 ● 仕事によって得られる報酬の種類と価値 ● 自分からコミュニケーションをとれる人になる ● 職場の世界での考え方は ● サービス業とは、英語科のサービスとは ● 長持の発達 ● 時給制の意義 ● 職場におけるコミュニケーション：報告/連絡/相談 ● 常にトップを目指す ● 上達の法則：努力・意欲・向上心 ● センシブルのスキルとマナー・礼儀 ● 就職後に起きやすい悩みと解決法 ● 問題解決の考え方 ● アシスタントがサロンの流れを作る：スーパーアシスタントの職業 ● 外国人が混ざり、フレンドリーな雰囲気を作る ● カルテ記入と管理の注意 ● 各管理の仕事（小口/スタンプ/顧客/商品/技術/実習） ● キャリアプランニング（ゴール目標/1年後・3年後・5年後） ● 親睦と絆の重要性 ● 個人生活の取扱い ● 職業生活全般について	● 授業実践技能（カット/ワッシュ/ドライ/スタイリング） ● 技術知識・技術理論 ① 職法理論 ② アシスタントのセーフティタニク ● 技術知識・ヘルプ技術 ① ターゲットセッティング ② クロスセッティング ③ マニキュア ④ シンチアタニク ⑤ カウリータッチ/リタッチ ⑥ ハンドグリップ ● 接客知識・技術理論 ① 今、日本企業で求められているサービスとは ② アシスタントの責任 ③ 質の追求 ④ アプローチ会場の分類とサロンで活用してはいけない事項 ⑤ 接客にこまめな接客の心 ⑥ 接客時間配分の配分 ⑦ クラウドネス（整理・整頓・清掃） ⑧ 基本接客技術 ⑨ 応答接客技術 ⑩ カウンタース ⑪ 自分らしい（清潔と清潔の両方）/接客 ⑫ 接客・接客、丁寧な、コミュニケーション ⑬ 接客の技術と接客の技術 ⑭ 接客の技術と接客の技術 ⑮ 接客の技術と接客の技術 ⑯ 接客の技術と接客の技術 ⑰ 接客の技術と接客の技術 ⑱ 接客の技術と接客の技術 ⑲ 接客の技術と接客の技術 ⑳ 接客の技術と接客の技術 ㉑ 接客の技術と接客の技術 ㉒ 接客の技術と接客の技術 ㉓ 接客の技術と接客の技術 ㉔ 接客の技術と接客の技術 ㉕ 接客の技術と接客の技術 ㉖ 接客の技術と接客の技術 ㉗ 接客の技術と接客の技術 ㉘ 接客の技術と接客の技術 ㉙ 接客の技術と接客の技術 ㉚ 接客の技術と接客の技術 ㉛ 接客の技術と接客の技術 ㉜ 接客の技術と接客の技術 ㉝ 接客の技術と接客の技術 ㉞ 接客の技術と接客の技術 ㉟ 接客の技術と接客の技術 ㊱ 接客の技術と接客の技術 ㊲ 接客の技術と接客の技術 ㊳ 接客の技術と接客の技術 ㊴ 接客の技術と接客の技術 ㊵ 接客の技術と接客の技術 ㊶ 接客の技術と接客の技術 ㊷ 接客の技術と接客の技術 ㊸ 接客の技術と接客の技術 ㊹ 接客の技術と接客の技術 ㊺ 接客の技術と接客の技術 ㊻ 接客の技術と接客の技術 ㊼ 接客の技術と接客の技術 ㊽ 接客の技術と接客の技術 ㊾ 接客の技術と接客の技術 ㊿ 接客の技術と接客の技術	● コミュニケーション能力 ● 最低限のサービスを顧客に提供し、顧客の要望や希望の能力 ● 職場の同僚、先輩、後輩との良好な関係を築く能力 ● 組織の一員としての責任を遂行するために必要な協調力と意思疎通の能力 ● 基本的なプレゼンテーション能力 ● 経験や技能を表現する能力 ● 作成した資料を顧客が理解できるように共有する能力 ● 四やスマートフォンなどを活用し、社会一般に公表、表現する能力（SNSなど） ● さまざまな状況で実施される現場で非常時の対応/任務について、幅広い知識や能力を必要とする。かなりの責任感と自主性をもちて仕事をする能力 ● 職場で各チームの統率と管理を行い、問題に迅速する能力	● 英語科及び英語の仕事に責任感としての自覚と自覚心、仕事に対する姿勢を持っている（英語科としての誇り） ● 仕事に対する責任感と責任感 ● 知識、及び技術の経験を磨くための問題解決に取り組む姿勢 ● 自己管理能力 ● 自分のおかれた状況を理解することができている ● 技術向上に関して、計画の取り組むことができる ● 組織の一員としての円滑な業務の遂行 ● 自己だけでなく他者との共同作業をする姿勢と共通する責任感 ● 不確実な事態の発生に迅速する為の考え方や真摯な姿勢	● 社会的規範を理解し、コンプライアンス意識を身につけた行動 ● 個人健康やプライバシーに配慮 ● 守秘義務の遵守			

5

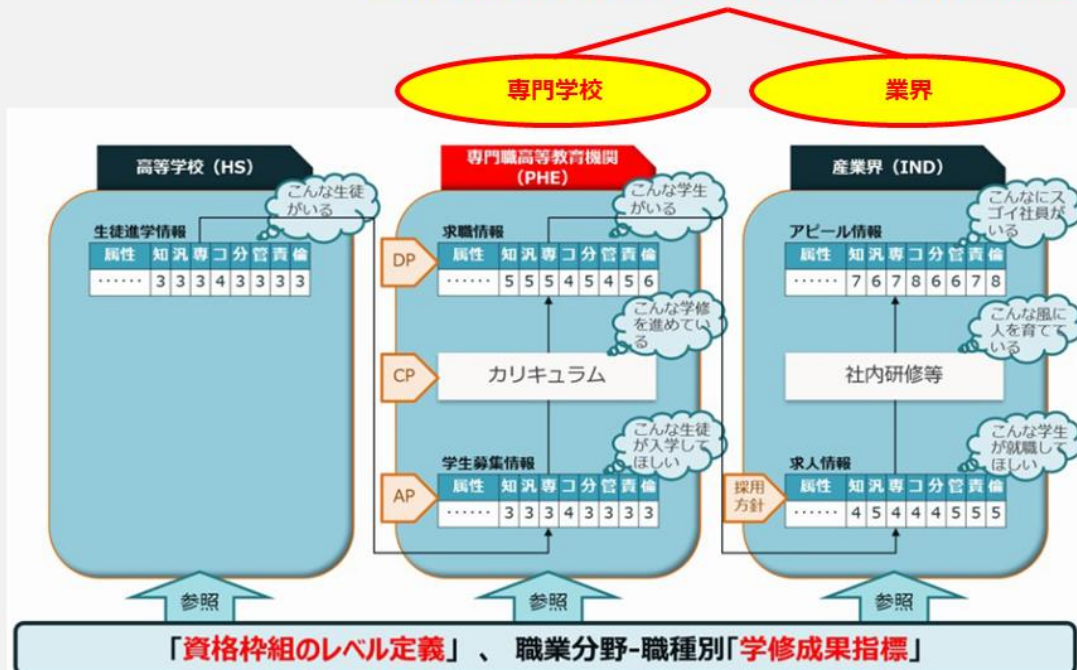
学修成果指標 (4)

№	学習者プロフィール	知識と理解	技能					責任と自律性	
			汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能		
4	美容師となるために必要な基礎的理論・原理をひととおり理解 美容師としての仕事をひととおり理解 職業人意識や職業倫理に対する前向きな姿勢 ★レベル別のイメージ キーマワード 「学生」・「パーシブティブ・ディスタント」・「美容学生」	国家試験実技課題（カット、ワインディング、ウェーブ）の理論と学科課題の学習 毛髪診断 ケミカル（基剤） ・シャンプー剤/トリートメント剤 ・カラー剤 ・パーマ剤 ・スタイリング剤 ・ヘアケア剤 SNS上に見込客を誘致	知識や、よく知っている手段、スキルを活用して、定型的経路/学習の手順でできる問題を解決する技能	国家試験実技課題（カット、ワインディング、ウェーブ）の学習 パーシブティブ技術の習得 ・髪の流れし方 ・セクションの分け取り方と色め方 ・シェービング ・鏡の活用 ・ウレシグカット（ショートボブ） ・ロングレイヤークット パーマ基本技術の習得 ・ロングレイヤークットウィッグにロッドを巻いて巻出し、ウェーブを作る ロッドの巻き方の習得 ①縦巻き（スパイラル） ②斜め巻き ③縦巻き ④横巻き ⑤半巻き ⑥ビッグロッドに慣れる ・その他施設経験、及び資格取得に必要な実体験の習得 カラーリング基本技術の習得 ・リタッチ ・ジャストタッチ ・ゼロタッチ ・ホルワーク ①スタイリング ②ウェーピング ③メッシュ	望まれる学習成果を得得する為、先生や同級生など連絡相談をする関係者と信頼関係を築く能力 職場で必要となる人間関係構築能力を習得するため、同級生、先輩、後輩と良好な関係を築くコミュニケーション能力	資料作成及びプレゼンテーションスキル（PCやスマートフォンなどを使用したSNS投稿技術などを含む） 最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をこなせる能力 学習/仕事の枠内で、相手に助言を与える能力	学習に対する意欲及び責任感 知識及び技術の経験を得るための問題解決に意欲を燃焼 国家資格を取得し、美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚と自尊心、仕事に対する熱意	社会的規範を理解し、社会及び学校生活を送るにあたり、コンプライアンス意識を培った行動	

6

学修成果情報共有システムの実証実験（イメージ図）

これらの主体の間で思った通りのコミュニケーションが図れるか？



※イメージ図中の略称の説明

知…知識と理解、汎…汎用的技能、専…専門実践技能、対…対人技能、分…分析技能、管…管理・指導技能、責…自律性と責任感、倫…倫理観とプロ意識
DP…ディプロマ・ポリシー、CP…カリキュラム・ポリシー、AP…アドミッション・ポリシー

7

具体的な情報

● アクセス先

- A 学修成果情報共有システム
<https://competency.qaphe.com/>
学生・教員ともにこのURLから、アカウントでログインして学修成果の評価等を行います。
- B ポートフォリオ検索システム
<https://compsearch.qaphe.com/>
Aの結果をWeb公開するために必要な情報の登録のためのシステムです。

● 説明書

- A 学修成果情報共有システム
学生用
<https://qaphe.com/wp/wp-content/uploads/competency2021learningsystemmanualstudent.pdf>
教員用
<https://qaphe.com/wp/wp-content/uploads/competency2021learningsystemmanualteacher.pdf>
- B ポートフォリオ検索システム
https://drive.google.com/file/d/11I1ZuBVRi7JCb8OeG9hyx1m_iB7Os6s/view?usp=sharing

8

資料 2 ポートフォリオ検索システムのマニュアル

目次

1	ポートフォリオ検索システムの目的	1
1.1	事業計画書上の位置付け	1
1.2	ポートフォリオ検索システムの方向性	1
1.3	ポートフォリオ検索システム業務フロー	2
1.4	ポートフォリオ検索システム登録に必要な情報	3
1.4.1	タイトル	3
1.4.2	レベル	3
1.4.3	検索タグ	3
1.4.4	自己アピール	4
1.4.5	自己アピール概要	4
1.4.6	個人 ID	4
1.4.7	氏名	4
1.4.8	ポートフォリオ公開 URL	4
2	事前準備	6
2.1	組織のポートフォリオ公開承認アカウントの作成	6
2.2	個人 ID 採番規則の設定	6
3	ポートフォリオの登録	7
3.1	登録対象者	7
3.2	所属する組織の選択	7
3.3	ポートフォリオの登録	12
4	ポートフォリオの承認	17

4.1 ポートフォリオ登録のメール通知	17
4.2 ポートフォリオ承認担当のアカウントでログイン	17
4.3 ポートフォリオ登録内容の確認	20
4.4 ポートフォリオの公開	23

5 ポートフォリオの検索 27

5.1 検索対象となる分野・職種の選択	27
5.2 検索条件の設定	29
5.2.1 検索項目間の関係	29
5.2.2 同一検索項目内の検索値の関係	30
5.2.3 検索結果件数	31
5.2.4 所属	31
5.2.5 レベル	32
5.2.6 タグ	32
5.2.7 キーワード	33
5.3 検索の実行	33
5.4 検索結果一覧の表示	34
5.5 自己アピールの表示	35
5.6 ポートフォリオの表示	37

1 ポートフォリオ検索システムの目的

1.1 事業計画書上の位置付け

事業計画書上の「学修成果情報共有システム」は、「資格枠組のレベル定義」を行い、「学修成果指標」に合致するかの評価をシステム上で行い、更にその結果を共有するシステムの開発を行うものである。

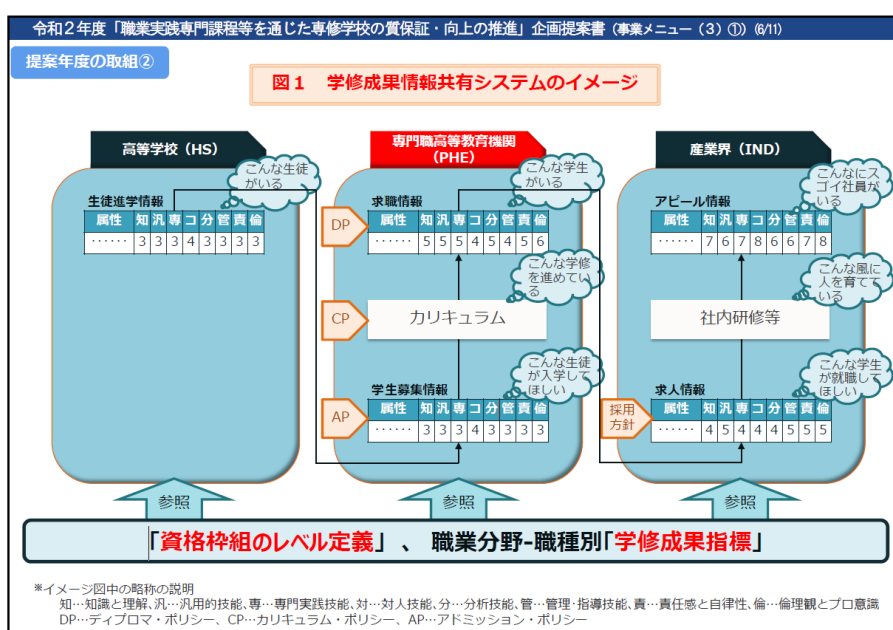


図 1 事業計画書

1.2 ポートフォリオ検索システムの方向性

本事業において、「学修成果指標」に合致するかの評価を行うシステムの構築を行うが、学校によっては既存の独自のシステムを運用している場合もあり、本事業で開発する「学修成果指標」の評価システムとは異なるシステム上で学修成果が公開されている場合もあると考えられる。

ポートフォリオ検索システムは、多くの情報が存在することで情報検索する利用者にとっての利便性が高まることから、本事業で開発する「学修成果指標」の評価システム以外で公開されている学修成果であったとしても検索対象にできることが望ましいと考えられる。

る。

そのため、ポートフォリオ検索システムは、学修成果の公開 URL さえ存在すれば、本事業で開発した評価システムに限らず、学校や企業など組織の Web サイト上の情報、個人のブログ上の情報などのような学修成果の公開方法であったとしても検索対象にできることが望ましいと考えられる。

1.3 ポートフォリオ検索システム業務フロー

ポートフォリオ検索システムの業務フローを示す。

① ポートフォリオの公開

学生や企業の従業員が、自分自身のポートフォリオを公開する。

ポートフォリオの公開は、Web 上で特別なアカウントを必要としない状態で公開されていれば、本事業で開発した評価システムに限らず、組織の Web サイト上、個人のブログ上等の公開でも良い。

② ポートフォリオ検索システムへの登録

学生や企業の従業員が、自分のポートフォリオを公開した URL を、ポートフォリオ検索システムに登録する。

ポートフォリオ公開 URL と併せて、簡単な自己アピールを登録する。

学生や企業の従業員が自分自身のポートフォリオをポートフォリオ検索システムに登録した段階では、登録した情報は公開されない。

③ ポートフォリオ検索システム登録のメール通知

学生や企業の従業員がポートフォリオ検索システムに自分のポートフォリオを登録した段階で、学校や企業のポートフォリオ承認担当者のメールアドレス宛に、ポートフォリオが登録されたことを通知するメールが送られる。

④ ポートフォリオ検索システム登録内容の承認

学校や企業のポートフォリオ承認担当者が、学生や従業員がポートフォリオ検索システムに登録した情報を承認する。

⑤ ポートフォリオ検索システムでの検索

学校や企業のポートフォリオ承認担当者によって承認された情報は、ポートフォリオ検索システムの検索対象として追加される。

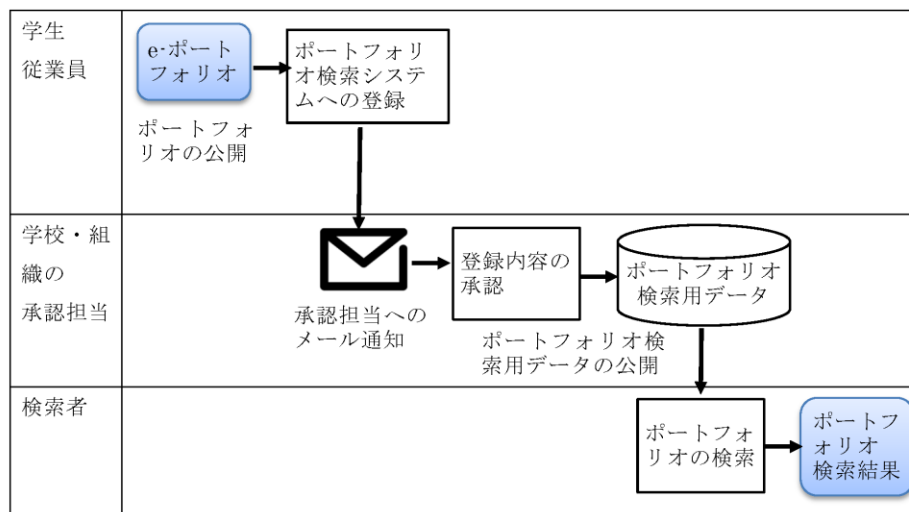


図 2 ポートフォリオ検索システム業務フロー

1.4 ポートフォリオ検索システム登録に必要な情報

ポートフォリオ検索システムは、広く外部から情報を検索できることも必要であるが、検索された結果から個人が容易に特定できない個人情報の秘匿も必要である。

1.4.1 タイトル

個人のポートフォリオの題名である。

検索結果の一覧に表示された際に、検索した人が興味を持ってもらえるような簡潔なタイトルを設定する。

1.4.2 レベル

公開するポートフォリオが合格基準に到達した学修成果指標のレベルである。

1.4.3 検索タグ

ポートフォリオを公開する個人が、特にアピールしたいスキルに関連するキーワードである。

ポートフォリオを検索する際のキーワードとしても設定可能である。

個人の判断で検索タグを追加すると無尽蔵に増加してしまうため、あらかじめ分野・職種ごとに 10 個程度の検索タグを設定し、その中から選択する。

1.4.4 自己アピール

ポートフォリオを検索して、個人のポートフォリオを表示した場合に表示される自己アピールである。

閲覧した人に興味を持ってもらえるようなアピール文を記載する。

氏名・電話番号・メールアドレスのような、個人を特定できる内容は記載しない。

1.4.5 自己アピール概要

ポートフォリオを検索した結果の一覧画面上に表示される、短い自己アピールである。

一覧で表示された際に長すぎない 50 文字程度の文章で簡潔に自己アピールを記載する。

氏名・電話番号・メールアドレスのような、個人を特定できる内容は記載しない。

1.4.6 個人 ID

ポートフォリオを検索した外部の人からの問い合わせを学校や企業が受けた場合に、そのポートフォリオが誰のものかを識別するための ID である。

外部から見た場合は個人の特定が困難であり、学校や企業の組織内部のポートフォリオ担当者から見た場合には容易に個人を特定できるような組織内の個人 ID の採番規則を設定する必要がある。

1.4.7 氏名

個人が登録したポートフォリオを、学校や企業の承認担当者が確認して、公開可能かどうかを判断する際の情報のひとつである。

個人 ID があれば個人の特定は可能であるが、より容易に組織内部で個人を特定するために氏名を記載する。

記載した氏名は、組織のポートフォリオ承認担当者が個人を特定する際にのみ用いられ、外部には公開されない。

1.4.8 ポートフォリオ公開 URL

自己のポートフォリオの公開先 URL である。

ポートフォリオ公開 URL は、本事業で開発した評価システムに限らず、特別な権限やアカウントが不要で閲覧できる URL であれば学校や企業の Web サイト上、個人の Web サイト、個人のブログ、SNS 上の公開ページなどが利用可能である。

e ポートフォリオシステムの「mahara」を利用した場合を例にすると、個人が外部に公開することを許可するために共有対象を「パブリック」に設定し、公開先の URL として「シークレット URL」を発行している場合に、e ポートフォリオは外部に公開されている

状態となる。

「シークレット URL」は、複雑に設定された URL であり、知らない外部の人間が辿り着くことは困難であるが、URL さえ知っていれば誰でも公開された e ポートフォリオの閲覧が可能である。



図 3 mahara の公開 URL

2 事前準備

2.1 組織のポートフォリオ公開承認アカウントの作成

ポートフォリオ検索システムを利用する学校や企業の組織ごと、分野・職種ごとに、ポートフォリオ公開承認担当者のアカウントの作成が必要である。

ポートフォリオ公開承認担当者のアカウントを作成する際には、ポートフォリオが登録されたことを通知するメールアドレスが必要である。

ポートフォリオ公開承認担当者のメールアドレスは、ポートフォリオ検索システム内で重複しないものを設定する。

※同じ組織であっても、分野・職種が異なれば、異なるメールアドレスが必要

2.2 個人 ID 採番規則の設定

ポートフォリオを検索した人から学校や企業に問い合わせがあった場合に、学校や企業が誰のポートフォリオかを識別するための ID である個人 ID の採番規則を、学校や企業内部で設定する必要がある。

外部から見た場合は個人の特定が困難であり、学校や企業の組織内部のポートフォリオ承認担当者から見た場合には容易に個人を特定できるような組織内の個人 ID の採番規則を事前に取り決める。

3 ポートフォリオの登録

3.1 登録対象者

本システムを利用することを認められている学校や企業に所属する学生や従業員が登録対象者となる。

登録処理自体は誰でも可能であるが、登録しただけでは公開されず、所属する組織の担当者が適切と判断した場合のみ公開される。

reCAPTCHA を利用して、ロボットによるスパム登録を防止している。

3.2 所属する組織の選択

ポートフォリオを登録する者は、自己の所属する組織のポートフォリオ登録画面を利用する。

① ポートフォリオ検索システム URL を表示

ポートフォリオ検索システム URL 「<https://compsearch.qaphe.com/>」をブラウザで表示する。



図 4 ポートシステム検索システム URL を表示

- ② 「ポートフォリオ登録」をクリック



図 5 「ポートフォリオ登録」をクリック

- ③ 「分野」を選択

ポートフォリオの登録を行う分野をクリックする。

※あらかじめ本システムへのポートフォリオの登録が認められた組織に所属する方が登録可能です。

「分野」を選択

美容分野 美容分野のポートフォリオを登録します。 続きを読む	ゲーム・CG分野 ゲーム・CG分野のポートフォリオを登録します。 続きを読む
動物分野 動物分野のポートフォリオを登録します。 続きを読む	土木建築分野 土木建築分野のポートフォリオを登録します。 続きを読む

図 6 「分野」を選択

④ 「職種」を選択

ポートフォリオの登録を行う職種をクリックする。



図 7 「職種」を選択

⑤ 「組織」を選択

ポートフォリオの登録を行う組織(学校や企業)をクリックする。



図 8 「組織」を選択

- ⑥ 選択した組織のポートフォリオ登録画面が表示される

図 9 選択した組織のポートフォリオ登録画面が表示される

3.3 ポートフォリオの登録

自己の所属する組織のポートフォリオ登録画面を利用して、自己アピール等の必要な情報を登録する。

① 「ポートフォリオ」の登録

- タイトル
個人のポートフォリオの題名である。
検索結果の一覧に表示された際に、検索した人に興味を持ってもらえるような簡潔なタイトルを設定する。
- レベル
公開するポートフォリオが合格基準に到達した学修成果指標のレベルを設定する。

- 検索タグ
特にアピールしたいスキルに関連するキーワードを選択する。
ポートフォリオを検索する際のキーワードとして利用される。
- 自己アピール
ポートフォリオを表示した場合に表示される自己アピールを設定する。
閲覧した人に興味を持ってもらえるようなアピール文を記載する。
氏名・電話番号・メールアドレスのような、個人を特定できる内容は記載しない。
- 自己アピール概要
ポートフォリオを検索した結果の一覧画面上に表示される、短い自己アピールを設定する。
一覧で表示された際に長すぎない、50 文字程度の文章で簡潔に自己アピールを記載する。
氏名・電話番号・メールアドレスのような、個人を特定できる内容は記載しない。
- 個人 ID
ポートフォリオを検索した外部の人からの問い合わせがあった場合に、問い合わせを受けた学校や企業が、そのポートフォリオが誰もものかを識別するための ID である。
外部から見た場合は個人の特定が困難であり、学校や企業の組織内部のポートフォリオ承認担当者から見た場合には容易に個人を特定できるような組織内の個人 ID の採番規則を事前に取り決める。
- 氏名
所属する組織内部で個人を特定するために利用する。
記載した氏名は、組織のポートフォリオ承認担当者が個人を特定する際にのみ用いられ、外部には公開されない。
- ポートフォリオ公開 URL
自己のポートフォリオの公開先 URL を設定する。
ポートフォリオ公開 URL は、本事業で開発した評価システムに限らず、特別な権限やアカウントが不要で閲覧できる URL であれば学校や企業の Web サイト上、個人の Web サイト、個人のブログ、SNS 上の公開ページなどが利用可能である。

[ホーム](#) / [ポートフォリオ登録](#) / [美容分野](#) / [美容師職種](#) / [ハリウッド大学院大学](#)

「*」の箇所は必須入力

タイトル*

自己アピールのタイトルを簡潔に記載してください。

レベル*

美容-美容師-レベル3

学修成果指標のレベルを選択してください。

検索タグ

☒ ITスキル ☐ エステティック ☒ カット ☐ カラー
☒ コミュニケーション ☒ ネイル ☒ パーマ ☐ マッサージ
☐ メイクアップ ☒ 経営

自分にあてはまるキーワードをチェックしてください。
検索キーワードとして利用されます。

自己アピール *

私は、カットやパーマなどの美容師としての技術にも自信
がありますが、それ以上にお客様とのコミュニケーション
が得意です。

美容室にいる時間を快適な時間にできるように、明るくボジティブな会話が出来るような情報収集を行っています。

自己アピールを詳細に記載してください。
氏名・電話番号・メールアドレス等個人を特定できる情報は記載しないようにしてください。

14

自己アピール概要 *

私は、カットやパーマなどの美容師としての技術にも自信がありますが、それ以上にお客様とのコミュニケーションが得意です。

自己アピールを50文字程度にまとめて記載してください。
改行せずに入力してください。
氏名・電話番号・メールアドレス等個人を特定できる情報は記載しないようにしてください。

個人ID *

1234567890

字番号・社員番号等、組織ごとに指示された個人を識別するIDを入力してください。
組織のポートフォリオ確認担当者が個人を識別するためのIDです。
組織の外部から個人を特定できないようなIDを設定してください。

氏名 *

鈴木 花子

氏名を入力してください。
組織のポートフォリオ確認担当者が個人を識別するために利用します。
組織の外部には公開されません。

ポートフォリオ公開URL *

https://competency.abnetweb.com/view/view.php?t=z7qixOkw80hs

maharaで公開設定した自分のコンピテンシー評価コレクションのシークレットURLを入力します。
先頭の「http://」、 「https://」 から省略せずに入力してください。

「ポートフォリオ」の入力

ポートフォリオ登録

「ポートフォリオ登録」ボタンをクリック

図 11 「ポートフォリオ」の登録

② 「ポートフォリオ」の登録完了

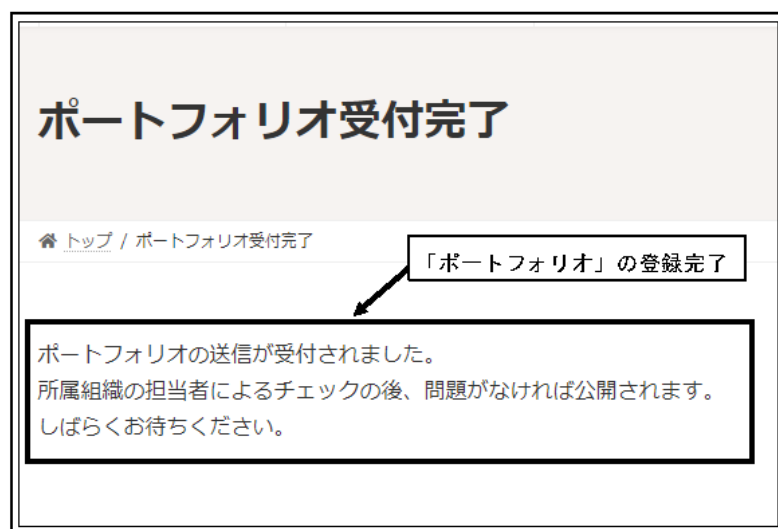


図 12 「ポートフォリオ」の登録完了

4 ポートフォリオの承認

ポートフォリオ登録者の所属する組織のポートフォリオ承認担当者が、ポートフォリオの公開可否を判断する。

4.1 ポートフォリオ登録のメール通知

ポートフォリオが登録されると、当該組織のポートフォリオ承認担当者のメールアドレス宛にポートフォリオが登録されたことの通知メールが送信される。

① ポートフォリオ登録のメール通知

当該組織のポートフォリオ承認担当者のメールアドレス宛にポートフォリオが登録されたことの通知メールが送信される。

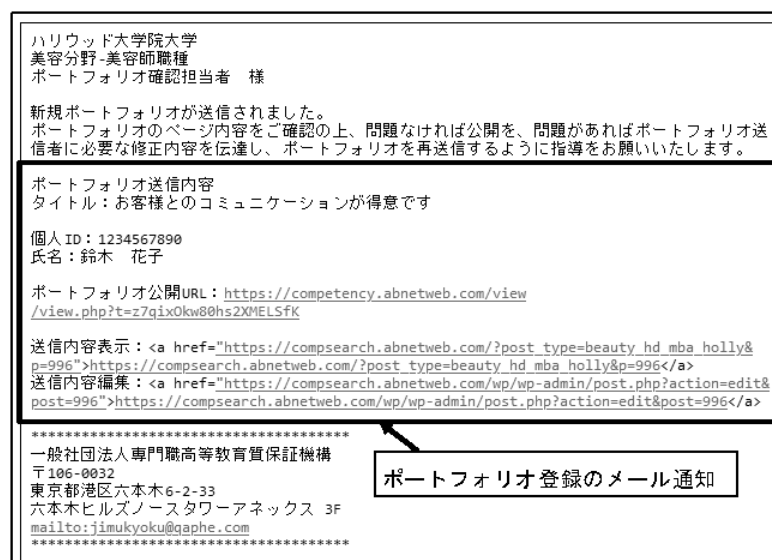


図 13 ポートフォリオ登録のメール通知

4.2 ポートフォリオ承認担当のアカウントでログイン

ポートフォリオ登録内容の確認段階では、ポートフォリオは一般公開されていないため、組織に付与されたポートフォリオ承認担当のアカウントでログインしておく必要がある。

① ポートフォリオ検索システムログイン用 URL を表示

ポ ー ト フ ォ リ オ 検 索 シ ス テ ム ロ グ イ ン 用 U R L
「https://compsearch.qaphe.com/wp/wp-login.php」をブラウザで表示する。



図 14 ポートフォリオ検索システムログイン用 URL を表示

② 当該組織のポートフォリオ承認用アカウントでログイン

当該組織のポートフォリオ承認用アカウントの「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。



図 15 当該組織のポートフォリオ承認用アカウントでログイン

③ 当該組織のポートフォリオ承認用アカウントでログイン完了

当該組織のポートフォリオ承認用アカウントでのログインが完了し、担当者名が表示される。



図 16 当該組織のポートフォリオ承認用アカウントでログイン完了

4.3 ポートフォリオ登録内容の確認

ポートフォリオ登録の通知メール内の、「送信内容表示」のリンク先を表示することで、実際のポートフォリオ公開画面の表示内容の確認を行う。

※事前にポートフォリオ承認担当のアカウントでログインしておく必要がある。

- ① ポートフォリオ登録の通知メール内の「送信内容表示」のリンク先を表示
「送信内容表示」のリンク先をクリックする。
※環境により、「送信内容表示」のリンク先をクリックしてもリンク先が表示されない場合は、ブラウザのアドレスバーにリンク先 URL をコピー&ペーストする。

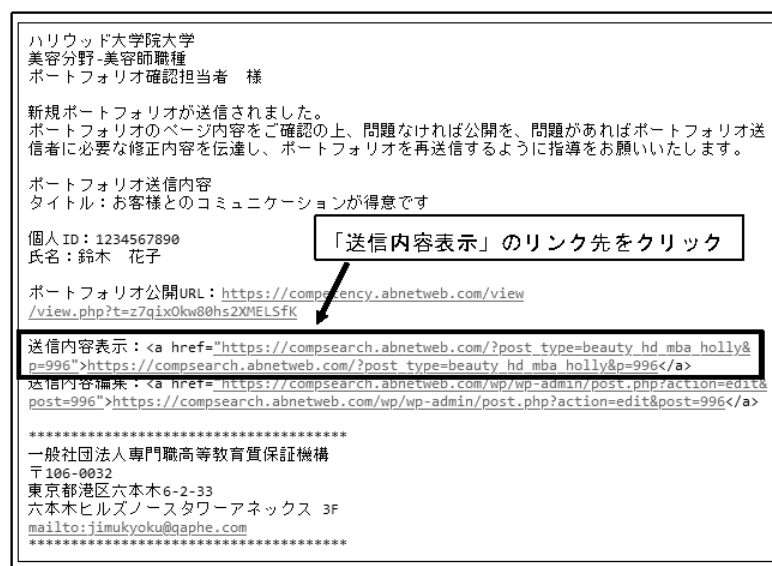


図 17 「送信内容表示」のリンク先を表示

- ② ポートフォリオ登録内容の表示確認
ポートフォリオ登録内容が、検索された場合にどのように表示されるかを確認する。
※情報に誤りはないか、必要な情報が不足していないか、表現に問題はないか、個人情報公開されていないか等を必要に応じて確認する。

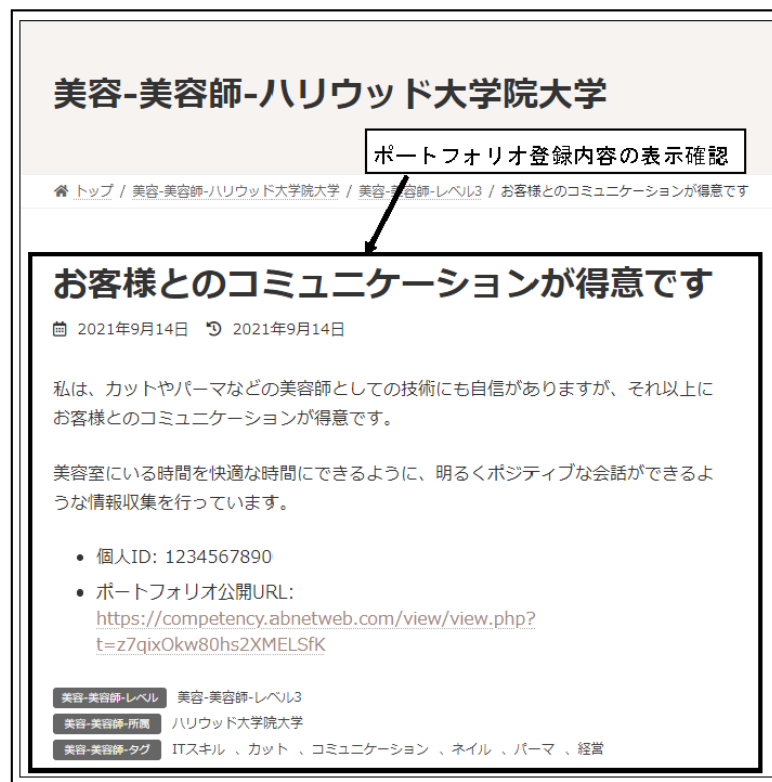


図 18 ポートフォリオ登録内容の表示確認

- ③ 「ポートフォリオ公開 URL」 のリンク確認
「ポートフォリオ公開 URL」 のリンクをクリックする。

美容-美容師-ハリウッド大学院大学

🏠 トップ / 美容-美容師-ハリウッド大学院大学 / 美容-美容師-レベル3 / お客様とのコミュニケーションが得意です

お客様とのコミュニケーションが得意です

📅 2021年9月14日 🕒 2021年9月14日

私は、カットやパーマなどの美容師としての技術にも自信がありますが、それ以上にお客様とのコミュニケーションが得意です。

美容室にいる時間を快適な時間にできるように、明るくポジティブな会話ができるような情報収集を行っています。

- 個人ID: 1234567890

- ポートフォリオ公開URL:

<https://competency.abnetweb.com/view/view.php?t=z7qixOkw80hs2XMElsfK>

「ポートフォリオ公開 URL」のリンクをクリック

美容-美容師-レベル

美容-美容師-レベル3

美容-美容師-所属

ハリウッド大学院大学

美容-美容師-タグ

ITスキル、カット、コミュニケーション、ネイル、パーマ、経営

図 19 「ポートフォリオ公開 URL」のリンク確認

④ 公開されたポートフォリオの表示確認

公開されたポートフォリオが表示されることを確認する。



図 20 公開されたポートフォリオの表示確認

4.4 ポートフォリオの公開

ポートフォリオ登録の通知メール内の、「送信内容編集」のリンク先を表示することで、個人名を含めたポートフォリオ登録内容の確認を行い、公開に問題ないと判断できる場合はポートフォリオの公開を行う。

※事前にポートフォリオ承認担当のアカウントでログインしておく必要がある。

- ① ポートフォリオ登録通知メール内の「送信内容編集」のリンク先を表示

「送信内容編集」のリンク先をクリックする。

※環境により、「送信内容編集」のリンク先をクリックしてもリンク先が表示されない場合は、ブラウザのアドレスバーにリンク先 URL をコピー&ペーストする。

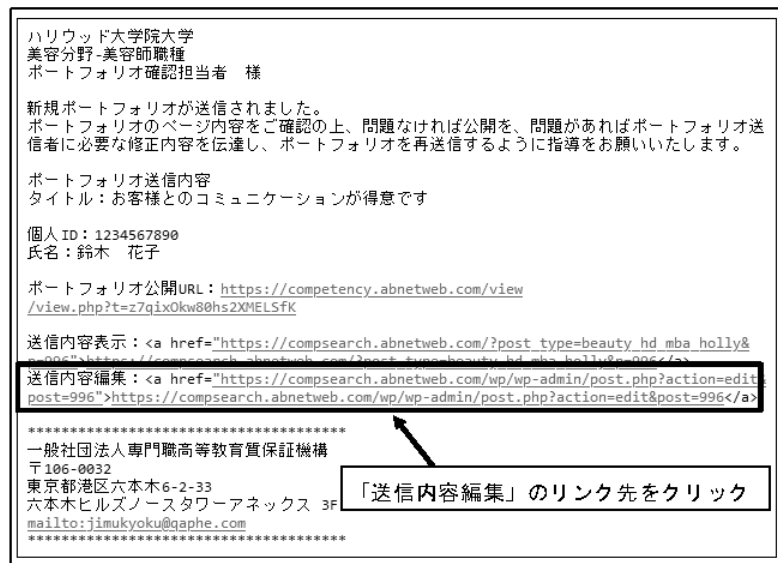


図 21 「送信内容編集」のリンク先を表示

② ポートフォリオ登録内容の確認

ポートフォリオ登録内容に誤りがないか、必要な情報が不足していないか、表現に問題はないか、個人情報が開示されていないか等を確認する。

※「氏名」は公開されることはないが、間違いなく公開対象の学生や従業員であることを確認するために利用する。「抜粋」は、検索結果の一覧に表示される内容であり、短い文章で端的に表現されていることを確認する。

※右ボタンで印刷

美容-美容師-ハリウッド大学院大学を編集

[新規追加](#)

Search & Filter 3.0 is almost here - make sure you're ready for the update - [continue reading](#)

ポートフォリオ登録内容の確認

お客様とのコミュニケーションが得意です

パーマリンク: https://comsearch.abnetweb.com/?ost_type=beauty_hd_mba_holly&p=926&preview=true

ビジュアル テキスト

ファイル 編集 表示 挿入 フォーマット ツール テーブル

段落	B I E	≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡	🔗 🔄 ↺ ↻ ⌨	🖼	✂
Georgia	12pt	🔍 🔊 🔌 🔌 🔌 🔌 🔌 🔌	🔗 🔗 🔗 🔗 🔗 🔗 🔗 🔗	🖼	✂

私は、カットやパーマなどの美容師としての技術にも自信がありますが、それ以上にお客様とのコミュニケーションが得意です。

美容室にいる時間を快適な時間にできるように、明るくポジティブな会話ができるような情報収集を行っています。

文字数: 110

最後の編集: 2021年9月14日 2:04 AM

ポートフォリオ用カスタムフィールドグループ

個人ID *

学識番号・社員番号等、組織ごとに指示された個人を識別するIDを入力してください。組織のポートフォリオ確認担当者が個人を識別するためのIDです。組織の外から個人を特定できないようIDを設定してください。

1234567890

氏名 *

氏名を入力してください。組織のポートフォリオ確認担当者が個人を識別するために利用します。組織の外には公開されません。

鈴木 花子

ポートフォリオ公開URL *

mahara で公開設定した自分のコンピテンシー評価コレクションのシークレットURLを入力します。先頭の「http://」、「https://」から省略せずに入力してください。

https://competency.abnetweb.com/view/view.php?T=z7qioKw80hs2XMLE5fK

抜粋

私は、カットやパーマなどの美容師としての技術にも自信がありますが、それ以上にお客様とのコミュニケーションが得意です。

抜粋は投稿内容から自分で作成する要約で、テーマの中で使用できます（オプション）。詳しくは[解説ページをご覧ください](#)。

公開

レビュー待ちとして保存

プレビュー

ステータス: レビュー待ち [編集](#)

公開状態: 公開 [編集](#)

すぐに公開する [編集](#)

ゴミ箱へ移動

公開

美容-美容師-レベル

美容-美容師-レベル一覧 [よく使うもの](#)

- ☒ 美容-美容師-レベル3
- ☐ 美容-美容師-レベル1
- ☐ 美容-美容師-レベル2
- ☐ 美容-美容師-レベル4
- ☐ 美容-美容師-レベル5
- ☐ 美容-美容師-レベル6
- ☐ 美容-美容師-レベル7
- ☐ 美容-美容師-レベル8

美容-美容師-タグ

- バースキル カット
- コミュニケーション ネイル
- パーマ 経営

図 22 ポートフォリオ登録内容の確認

③ ポートフォリオの公開

ポートフォリオ登録内容問題がない場合は、「公開」ボタンをクリックし、ポートフォリオを公開する。

ポートフォリオ登録内容に問題がある場合は、登録した学生や従業員に修正が必要な事項を伝え、再登録を指示する。

再登録が確認できた段階で、誤りのあるポートフォリオは削除する。



図 23 ポートフォリオの公開

④ ポートフォリオの公開確認

「投稿を公開しました」のメッセージが表示され、「公開」ボタンが「更新」ボタンに変わっていることを確認する。



図 24 ポートフォリオの公開確認

5 ポートフォリオの検索

検索対象となる分野・職種のポートフォリオ検索画面で検索条件を設定し、条件に合致するポートフォリオを検索する。

5.1 検索対象となる分野・職種の選択

ポートフォリオの検索対象とする分野・職種を選択する。

① ポートフォリオ検索システム URL を表示

ポートフォリオ検索システム URL 「<https://compsearch.qaphe.com/>」をブラウザで表示する。



図 25 ポートシステム検索システム URL を表示

② 検索対象とする「分野」をクリック



図 26 検索対象とする「分野」をクリック

③ 検索対象とする「職種」を選択

ポートフォリオ検索対象とする「職種」をクリックする。



図 27 検索対象とする「職種」を選択

- ④ 選択した「分野」、「職種」の検索条件設定画面が表示される

図 28 選択した「分野」、「職種」組織の検索条件設定画面が表示される

5.2 検索条件の設定

検索対象となる分野・職種のポートフォリオ検索画面で検索条件を設定し、条件に合致するポートフォリオを検索する。

5.2.1 検索項目間の関係

検索条件として設定する複数の項目(「所属」、「レベル」、「タグ」、「キーワード」)は、AND 条件(すべての条件を満たすもの)を検索対象とする。

所属

☐ ハリウッド美容専門学校 (0)

☒ ハリウッド大学院大学 (3)

美容-美容師-レベル

☐ 美容-美容師-レベル1 (0)

☐ 美容-美容師-レベル2 (0)

☒ 美容-美容師-レベル3 (3)

☐ 美容-美容師-レベル4 (0)

☐ 美容-美容師-レベル5 (0)

☐ 美容-美容師-レベル6 (0)

☐ 美容-美容師-レベル7 (0)

☐ 美容-美容師-レベル8 (0)

AND 条件(すべての条件を満たすもの)を検索対象とする

図 29 検索項目間の関係

5.2.2 同一検索項目内の検索値の関係

検索条件として設定する 1 つの項目(「所属」、「レベル」、「タグ」、「キーワード」)内の検索値は、キーワードは AND 条件(すべての条件を満たすもの)、キーワード以外は OR 条件(いずれかの条件を満たすもの)を検索対象とする。

キーワード

検索値: カット コミュニケーション

AND 条件(すべての条件を満たすもの)を検索対象とする

図 30 同一検索項目内の検索値の関係(キーワード)

美容-美容師-レベル

- ☐ 美容-美容師-レベル1 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル2 (0)
- ☒ 美容-美容師-レベル3 (3)
- ☒ 美容-美容師-レベル4 (1)
- ☐ 美容-美容師-レベル5 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル6 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル7 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル8 (0)

OR 条件(いずれかの条件を満たすもの)を検索対象とする

図 31 同一検索項目内の検索値の関係(キーワード以外)

5.2.3 検索結果件数

検索条件を設定した結果、検索結果として得られるポートフォリオの件数が検索値の右側の括弧内に表示される。

美容-美容師-レベル

- ☐ 美容-美容師-レベル1 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル2 (0)
- ☒ 美容-美容師-レベル3 (3)
- ☐ 美容-美容師-レベル4 (1)
- ☐ 美容-美容師-レベル5 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル6 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル7 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル8 (0)

検索結果として得られるポートフォリオの件数が括弧内に表示される

図 32 検索結果件数

5.2.4 所属

検索対象とする、学生や従業員の所属先を設定する。

所属

- ☐ ハリウッド美容専門学校 (1)
- ☒ ハリウッド大学院大学 (3)

検索対象とする学生や従業員の所属先を設定

図 33 所属

5.2.5 レベル

検索対象とする、学修評価指標のレベルを設定する。

美容-美容師-レベル

- ☐ 美容-美容師-レベル1 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル2 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル3 (3)
- ☐ 美容-美容師-レベル4 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル5 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル6 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル7 (0)
- ☐ 美容-美容師-レベル8 (0)

検索対象とする学修評価指標のレベルを設定

図 34 レベル

5.2.6 タグ

検索対象とする、自己アピールとして登録したタグ(キーワード)を設定する。

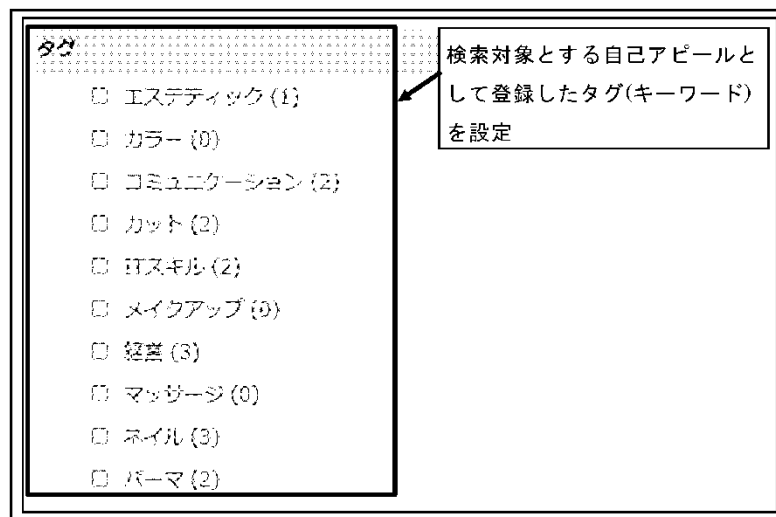


図 35 タグ

5.2.7 キーワード

検索対象とするキーワードを設定する。

複数のキーワードを設定する場合は、キーワード間を半角スペースで区切る。

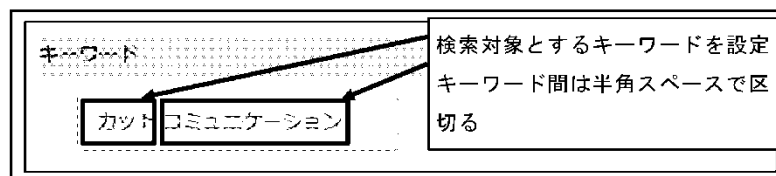


図 36 キーワード

5.3 検索の実行

検索条件を設定し、「検索」ボタンをクリックする。

The screenshot shows a search interface with two main sections: 'タグ' (Tags) and 'キーワード' (Keywords). The 'タグ' section contains a list of categories with checkboxes and counts: エステティック (0), カラー (0), コミュニケーション (2), カット (2) (checked), ITスキル (2), メイクアップ (0) (checked), 経営 (2), マッサージ (0), ネイル (2), and パーマ (2). The 'キーワード' section has a text input field containing the word '会話'. Below these sections is a '検索' (Search) button. Two callout boxes with arrows provide instructions: one points to the 'タグ' list with the text '検索条件を設定' (Set search conditions), and the other points to the '検索' button with the text '「検索」ボタンをクリック' (Click the 'Search' button).

タグ

- ☐ エステティック (0)
- ☐ カラー (0)
- ☐ コミュニケーション (2)
- ☒ カット (2)
- ☐ ITスキル (2)
- ☒ メイクアップ (0)
- ☐ 経営 (2)
- ☐ マッサージ (0)
- ☐ ネイル (2)
- ☐ パーマ (2)

キーワード

会話

検索

検索条件を設定

「検索」ボタンをクリック

図 37 検索の実行

5.4 検索結果一覧の表示

検索結果一覧が表示される。

検索結果一覧の表示順は、登録日の降順(新しいものから古いものへの順)で表示される。

登録から7日以内のポートフォリオは、「新着」の文字が表示される。



図 38 検索結果一覧の表示

5.5 自己アピールの表示

検索結果一覧から選択したポートフォリオの、自己アピールを表示する。

① 検索結果一覧からポートフォリオを選択

自己アピールを表示する対象のポートフォリオの「表示する」ボタンをクリックする。



図 39 検索結果一覧からポートフォリオを選択

- ② 自己アピールが表示される

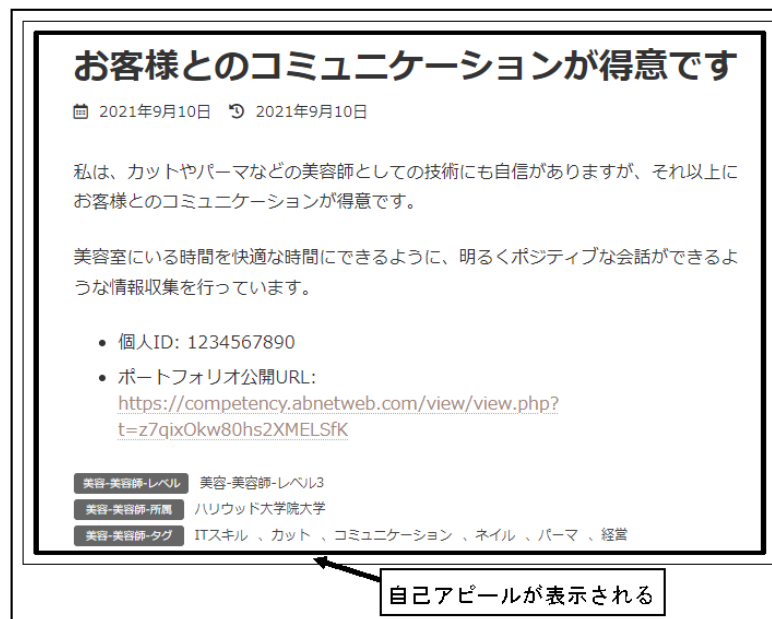


図 40 自己アピールが表示される

5.6 ポートフォリオの表示

表示した自己アピール画面の「ポートフォリオ公開 URL」をクリックすることで、公開されたポートフォリオが表示される。

- ① 「ポートフォリオ公開 URL」をクリック

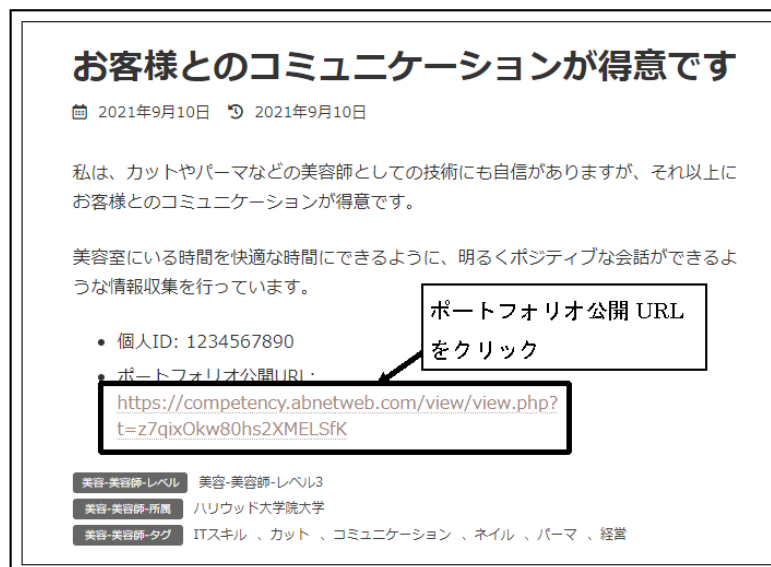


図 41 「ポートフォリオ公開 URL」をクリック

② 公開されたポートフォリオが表示される

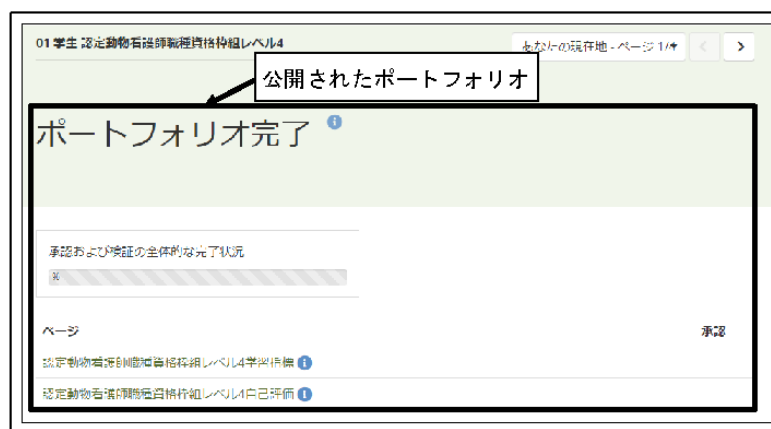


図 42 公開されたポートフォリオが表示される

資料3 (コンピテンシー)	事業成果説明資料 (コンピテンシー事業) 学校評価の充実等を目的とした資格枠組の 共有化・職業分野別展開とその有用性の検証 一般社団法人専門職高等教育質保証機構 2023年2月7日
--------------------------	---

事業成果の概要

令和4年度

令和3年度

令和2年度

資格枠組レベル定義

作成

学修成果指標
(分野ごと)

作成

作成 (改訂)

学修成果情報共有
システム

ニーズ調査

開発

実証実験

成果の公開・普及

国際シンポジウム

科学技術革新に貢献
する専門職高等教育

公開シンポジウム

国際的に信頼される専門
職高等教育をめざして

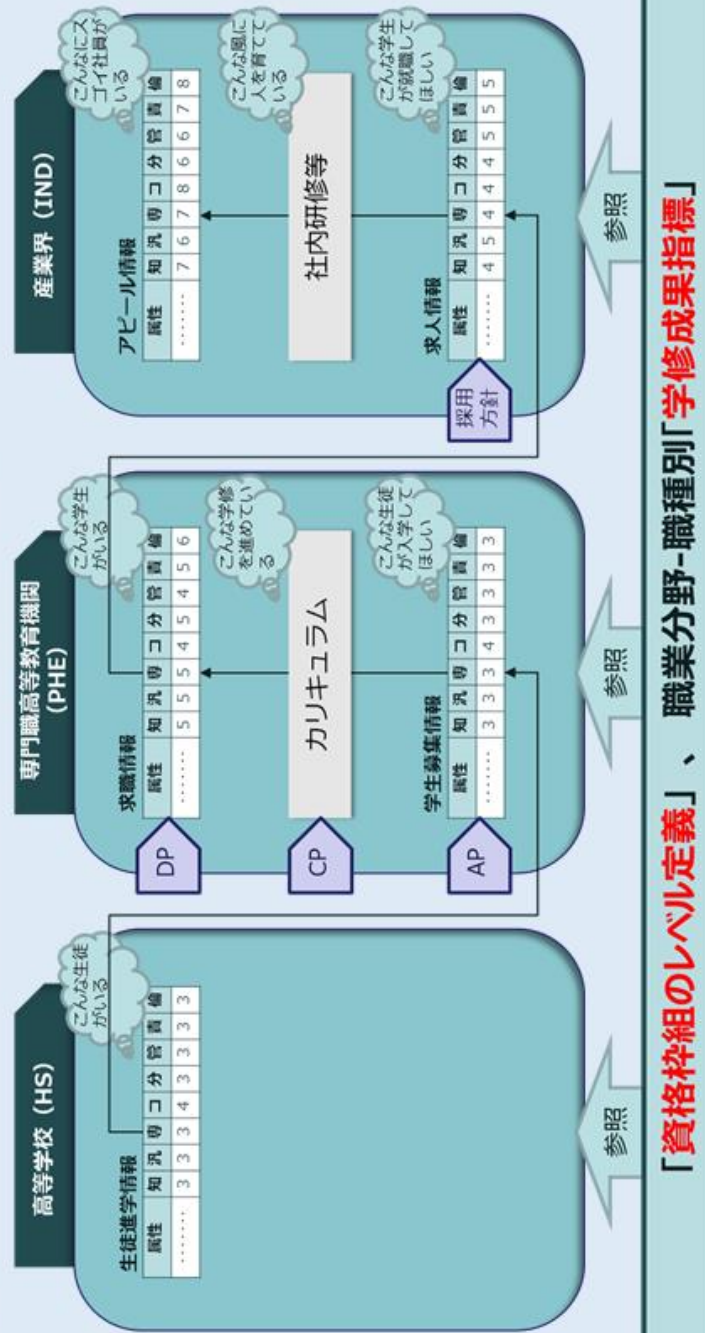
学修成果情報共有システム・実証実験

コンピテンシー事業 情報システムイメージ

- ✓ QAPHE
- ✓ NIC
- ✓ リクルート
- ✓ 専門学校団体
- ✓ 高等学校団体
- ✓ 美容
- ✓ ゲーム・CG
- ✓ 動物
- ✓ 土木・建築

- ✓ 最大の特徴はすべて「資格枠組のレベル定義」「学修成果指標」でレベル評価をすること
- ✓ 高等学校、専門職高等教育機関、産業界（企業）が情報を共有し連携・接続システム
- ✓ データベースシステムを構築しないという意味ないが、ガチガチの設計とまではしない（将来的な自由度を考慮）
- ✓ それぞれの立場のニーズに合ったシステム
 - ・ 高等学校の立場…「信頼できる情報」の取得
 - ・ 専門学校の立場…よい就職先とのつながり（良質な企業連携）、志を持った学生の募集
 - ・ 産業界の立場 …有能な人材の確保

※「JAPAN e-Portfolio」のように、高等学校の教員や生徒に操作を半ば強要する仕組みは現場に負担をかけるだけ。個人情報の管理にも不安。1レコードがある人物で、その履歴を継続的に管理できるeポートフォリオは、理想的であるが、現実的でない。



学修成果情報共有システム・実証実験

● 基本的な方法

学生用アカウント



本システムはeポートフォリオのOSSとして著名な mahara を改造して開発したものである

教員に送信

教員用アカウント





学修成果情報共有システム・実証実験

- 基本的な方法 一つづきー

<https://compsearch.gaphe.com/> ポートフォリオ検索システム 誰でも閲覧可能

検索

学校やキーワード検索を行うと、該当する登録者が表示される



登録

情報を公開したい学生が、ここで登録



学生30ハリウッド2022 美容分野実習成績評価結果発表！前スライドで説明したmahara上でのやり取りを見ることができる



・美容、ゲーム・CG、土木・建築の3分野は前スライドに記述した方法で、動物分野は分科会での議論を経て、学修成果指標ワークシートを詳細にした形で実験

- 動物分野は学修成果測定ワークシートを詳細化したもの（以下）を実験的に使用

自己評価の方法を
あいまいにしない
ことをめざした結
果

12月17日 宮崎
12月23日 大宮

学修成果情報共有システム・実証実験

- 美容分野で使用した学修成果測定ワークシート

4

学修成果測定シート (2022)

美谷分野 - 美谷師範

編 号	科目名	名称	担当	実施日時	2022/10/25
101	基礎科目	英語 I	バウツト美谷師範学校		
102	基礎科目	英語 II	バウツト美谷師範学校		
103	基礎科目	英語 III	バウツト美谷師範学校		
104	基礎科目	英語 IV	バウツト美谷師範学校		
105	基礎科目	英語 V	バウツト美谷師範学校		
106	基礎科目	英語 VI	バウツト美谷師範学校		
107	基礎科目	英語 VII	バウツト美谷師範学校		
108	基礎科目	英語 VIII	バウツト美谷師範学校		
109	基礎科目	英語 IX	バウツト美谷師範学校		
110	基礎科目	英語 X	バウツト美谷師範学校		
111	基礎科目	英語 XI	バウツト美谷師範学校		
112	基礎科目	英語 XII	バウツト美谷師範学校		
113	基礎科目	英語 XIII	バウツト美谷師範学校		
114	基礎科目	英語 XIV	バウツト美谷師範学校		
115	基礎科目	英語 XV	バウツト美谷師範学校		
116	基礎科目	英語 XVI	バウツト美谷師範学校		
117	基礎科目	英語 XVII	バウツト美谷師範学校		
118	基礎科目	英語 XVIII	バウツト美谷師範学校		
119	基礎科目	英語 XIX	バウツト美谷師範学校		
120	基礎科目	英語 XX	バウツト美谷師範学校		
121	基礎科目	英語 XXI	バウツト美谷師範学校		
122	基礎科目	英語 XXII	バウツト美谷師範学校		
123	基礎科目	英語 XXIII	バウツト美谷師範学校		
124	基礎科目	英語 XXIV	バウツト美谷師範学校		
125	基礎科目	英語 XXV	バウツト美谷師範学校		
126	基礎科目	英語 XXVI	バウツト美谷師範学校		
127	基礎科目	英語 XXVII	バウツト美谷師範学校		
128	基礎科目	英語 XXVIII	バウツト美谷師範学校		
129	基礎科目	英語 XXIX	バウツト美谷師範学校		
130	基礎科目	英語 XXX	バウツト美谷師範学校		
131	基礎科目	英語 XXXI	バウツト美谷師範学校		
132	基礎科目	英語 XXXII	バウツト美谷師範学校		
133	基礎科目	英語 XXXIII	バウツト美谷師範学校		
134	基礎科目	英語 XXXIV	バウツト美谷師範学校		
135	基礎科目	英語 XXXV	バウツト美谷師範学校		
136	基礎科目	英語 XXXVI	バウツト美谷師範学校		
137	基礎科目	英語 XXXVII	バウツト美谷師範学校		
138	基礎科目	英語 XXXVIII	バウツト美谷師範学校		
139	基礎科目	英語 XXXIX	バウツト美谷師範学校		
140	基礎科目	英語 XL	バウツト美谷師範学校		
141	基礎科目	英語 XLI	バウツト美谷師範学校		
142	基礎科目	英語 XLII	バウツト美谷師範学校		
143	基礎科目	英語 XLIII	バウツト美谷師範学校		
144	基礎科目	英語 XLIV	バウツト美谷師範学校		
145	基礎科目	英語 XLV	バウツト美谷師範学校		
146	基礎科目	英語 XLVI	バウツト美谷師範学校		
147	基礎科目	英語 XLVII	バウツト美谷師範学校		
148	基礎科目	英語 XLVIII	バウツト美谷師範学校		
149	基礎科目	英語 XLIX	バウツト美谷師範学校		
150	基礎科目	英語 L	バウツト美谷師範学校		
151	基礎科目	英語 LI	バウツト美谷師範学校		
152	基礎科目	英語 LII	バウツト美谷師範学校		
153	基礎科目	英語 LIII	バウツト美谷師範学校		
154	基礎科目	英語 LIV	バウツト美谷師範学校		
155	基礎科目	英語 LV	バウツト美谷師範学校		
156	基礎科目	英語 LVI	バウツト美谷師範学校		
157	基礎科目	英語 LVII	バウツト美谷師範学校		
158	基礎科目	英語 LVIII	バウツト美谷師範学校		
159	基礎科目	英語 LVIX	バウツト美谷師範学校		
160	基礎科目	英語 LX	バウツト美谷師範学校		
161	基礎科目	英語 LXI	バウツト美谷師範学校		
162	基礎科目	英語 LXII	バウツト美谷師範学校		
163	基礎科目	英語 LXIII	バウツト美谷師範学校		
164	基礎科目	英語 LXIV	バウツト美谷師範学校		
165	基礎科目	英語 LXV	バウツト美谷師範学校		
166	基礎科目	英語 LXVI	バウツト美谷師範学校		
167	基礎科目	英語 LXVII	バウツト美谷師範学校		
168	基礎科目	英語 LXVIII	バウツト美谷師範学校		
169	基礎科目	英語 LXIX	バウツト美谷師範学校		
170	基礎科目	英語 LX	バウツト美谷師範学校		
171	基礎科目	英語 LXI	バウツト美谷師範学校		
172	基礎科目	英語 LXII	バウツト美谷師範学校		
173	基礎科目	英語 LXIII	バウツト美谷師範学校		
174	基礎科目	英語 LXIV	バウツト美谷師範学校		
175	基礎科目	英語 LXV	バウツト美谷師範学校		
176	基礎科目	英語 LXVI	バウツト美谷師範学校		
177	基礎科目	英語 LXVII	バウツト美谷師範学校		
178	基礎科目	英語 LXVIII	バウツト美谷師範学校		
179	基礎科目	英語 LXIX	バウツト美谷師範学校		
180	基礎科目	英語 LX	バウツト美谷師範学校		
181	基礎科目	英語 LXI	バウツト美谷師範学校		
182	基礎科目	英語 LXII	バウツト美谷師範学校		
183	基礎科目	英語 LXIII	バウツト美谷師範学校		
184	基礎科目	英語 LXIV	バウツト美谷師範学校		
185	基礎科目	英語 LXV	バウツト美谷師範学校		
186	基礎科目	英語 LXVI	バウツト美谷師範学校		
187	基礎科目	英語 LXVII	バウツト美谷師範学校		
188	基礎科目	英語 LXVIII	バウツト美谷師範学校		
189	基礎科目	英語 LXIX	バウツト美谷師範学校		
190	基礎科目	英語 LX	バウツト美谷師範学校		
191	基礎科目	英語 LXI	バウツト美谷師範学校		
192	基礎科目	英語 LXII	バウツト美谷師範学校		
193	基礎科目	英語 LXIII	バウツト美谷師範学校		
194	基礎科目	英語 LXIV	バウツト美谷師範学校		
195	基礎科目	英語 LXV	バウツト美谷師範学校		
196	基礎科目	英語 LXVI	バウツト美谷師範学校		
197	基礎科目	英語 LXVII	バウツト美谷師範学校		
198	基礎科目	英語 LXVIII	バウツト美谷師範学校		
199	基礎科目	英語 LXIX	バウツト美谷師範学校		
200	基礎科目	英語 LX	バウツト美谷師範学校		

区分	測定項目	評価					測定者 フリーコメント
		A	B	C	D	E	
基礎科目	英語 I						
基礎科目	英語 II						
基礎科目	英語 III						
基礎科目	英語 IV						
基礎科目	英語 V						
基礎科目	英語 VI						
基礎科目	英語 VII						
基礎科目	英語 VIII						
基礎科目	英語 IX						
基礎科目	英語 X						
基礎科目	英語 XI						
基礎科目	英語 XII						
基礎科目	英語 XIII						
基礎科目	英語 XIV						
基礎科目	英語 XV						
基礎科目	英語 XVI						
基礎科目	英語 XVII						
基礎科目	英語 XVIII						
基礎科目	英語 XIX						
基礎科目	英語 XX						
基礎科目	英語 XXI						
基礎科目	英語 XXII						
基礎科目	英語 XXIII						
基礎科目	英語 XXIV						
基礎科目	英語 XXV						
基礎科目	英語 XXVI						
基礎科目	英語 XXVII						
基礎科目	英語 XXVIII						
基礎科目	英語 XXIX						
基礎科目	英語 XXX						
基礎科目	英語 XXXI						
基礎科目	英語 XXXII						
基礎科目	英語 XXXIII						
基礎科目	英語 XXXIV						
基礎科目	英語 XXXV						
基礎科目	英語 XXXVI						
基礎科目	英語 XXXVII						
基礎科目	英語 XXXVIII						
基礎科目	英語 XXXIX						
基礎科目	英語 XL						
基礎科目	英語 XLI						
基礎科目	英語 XLII						
基礎科目	英語 XLIII						
基礎科目	英語 XLIV						
基礎科目	英語 XLV						
基礎科目	英語 XLVI						
基礎科目	英語 XLVII						
基礎科目	英語 XLVIII						
基礎科目	英語 XLIX						
基礎科目	英語 L						
基礎科目	英語 LI						
基礎科目	英語 LII						
基礎科目	英語 LIII						
基礎科目	英語 LIV						
基礎科目	英語 LV						
基礎科目	英語 LVI						
基礎科目	英語 LVII						
基礎科目	英語 LVIII						
基礎科目	英語 LVIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						
基礎科目	英語 LXVIII						
基礎科目	英語 LXIX						
基礎科目	英語 LX						
基礎科目	英語 LXI						
基礎科目	英語 LXII						
基礎科目	英語 LXIII						
基礎科目	英語 LXIV						
基礎科目	英語 LXV						
基礎科目	英語 LXVI						
基礎科目	英語 LXVII						

[illegible]

学修成果情報共有システム・実証実験

● 意見聴取（美容、ゲーム・CG、土木・建築）

- ・ 実証実験参加者に対して、**レベルの適切性**、**システムの操作性**、**意義**、**自由意見**を聞いた
- ・ **学生**の回答状況

項目	美容	ゲーム・CG	土木・建築
レベルの適切性	全員が「適切」と回答	一部、「わからない」がいたが、他は「適切」	「適切」「適切でない」がほぼ同数
システムの操作性	1名を除き、「使いやすい」と回答。1名も「慣れれば使いやすい」と回答	「使いやすい」：「使いにくい」が1：2	「使いやすい」：「使いにくい」が3：7
意義	全員が「意義深い」と回答	一部、「わからない」と回答も、他は「意義深い」と回答	「意義深い」：「意義を感じない」：「わからない」が2：1：2
自由意見	学生と教員の「コミュニケーションツール」としての役立ちに期待する声 が主体	「学修レベルやポイントがわかってよい」というポジティブな評価が主体。修正のしにくさを訴える声も	「自己評価、他者評価を確認できるよい機会」ととらえる反面、「やり方が難しい」「実用性が低い」「操作確認がしにくい」などの声も

- ✓ 美容分野は入力量が少なく、システム本来の機能に気が向いていたため、全員がポジティブ
- ✓ ゲーム・CG分野は使いにくさを訴える声があるものの、意義深さを感じている傾向
- ✓ 土木・建築分野は「スタートまでに手間と時間がかった」や「前述职が長い」など、事務局的段取りに関する意見があり、システムの本質を考える時間に乏しかったことが、ネガティブな回答につながっている側面もあり

学修成果情報共有システム・実証実験

・教員の回答状況

項目	美容	ゲーム・CG	土木・建築
レベルの適切性	「適切」と回答 1:1:2	「適切」：「適切でない」が1:1:2 全員が「使いにくい」と回答	「適切」：「適切でない」が1:1:2 全員が「使いにくい」と回答
システムの操作性	「使いやすい」と回答	「使いにくい」と回答	「使いにくい」と回答
意義	「意義深い」と回答	「意義を感じない」：「わからない」が1:1 「意義深い」はゼロ	「意義深い」：「意義を感じない」：「わからない」が2:1:1
自由意見	「今後活用していけると、とても対効果を得ることができる」と回答	「評価側の教員のレベルの証明が必要」、「作品を見せるなどのプロセスがほしい」、「何とか見える化を実現できないか」など	「全体に操作が難しい」、「もっと簡素化できないか」、「簡易に利用できるように改善すれば非常に良い」など

- ✓ 美容分野は前スライドでも書いた通り、入力量が少なく、システム本来の機能に気が向いていたため、教員もポジティブであった
- ✓ ゲーム・CG分野の教員は自身のレベルに言及するなど、率直にシステムと向かい合って機能を見つめていただいた。今回は時間の関係で省略したが、画像を提出する機能も有しており、そのような局面を取り扱う必要性も感じられた。
- ✓ 土木・建築分野の教員は「意義深さ」を感じつつも、全体に操作が複雑で、簡略化への期待が感じられる。

学修成果情報共有システム・実証実験

●意見聴取（動物）

- ・ 実証実験参加者に対して、次表のようなことを聞いた
- ・ **学生**の回答状況
- ・ **教員**の回答状況

項目	動物（学生）
自己評価の容易性	「容易だった」と「難しい」が半々
難しい理由	・ 自己評価の判断が難しかったとの回答が半分。 ・ 履修したことを思い出すが難しかったとの回答が半分
自己評価の役立ち	「役立った」：「役に立たなかった」 = 5 : 2
役立ち理由	・ 全員が「履修したことを確認できて自信に繋がった」と回答 ・ 「就職活動などで自己アピールできると思った」はゼロ回答

項目	動物（教員）
自己評価の評価に関して	「容易だった」と「難しい」が 1 : 2
容易理由	・ 定期試験の結果が主体なので容易
難しい理由	・ 基準がわかりにくい ・ 点数化するとわかりやすい ・ 担当していない科目がわかりにくい
就職活動に活かせるか	全員が「よいツールになると思う」と回答

- ✓ 自己評価の方法をあいまいにしないことを目標とした改善を図ったが、情報量が増えたためか、**飛躍的によい結果にはつながっていない**。
- ✓ しかし、教員の、就職活動に活かす「よいツールになると思う」に現れたように、**確実に、精度を増したツールになった**。

学修成果情報共有システム・まとめ

● レベル感と意義

- ・ 学生には最も自身に合ったレベルを指定したが、概ね、そのレベル感は適切であった（特に、学生自身から見で）。これは学修成果指標の適切性を示している。
- ・ システムの意義も、概ね、感じられた（特に、学生から見で）。

● 教員のほうが学生よりも回答がネガティブ

- ・ 教員は事前にシステムを見ることなく、一方で、研修が同時進行であり、かつ、システム仕様が大きいと感じられるので、教員らしさを発揮できなかったため、回答が相対的にネガティブになったと思われる。

● 実際の事例の適用

- ・ 「美容」分野では、入力事例を与えて、残りの部分を考えさせる方式にした結果、全体に、取組に対する意欲が増したように思われる。
- ・ 特に、最初の段階では、実際の事例を適用することによって、全体的な勘所を養う工夫が有効ではないかと思われる。

● 画像の活用

- ・ 自由意見の中にあつた通り、画像の活用を図ることによって、視覚に訴える工夫ができることを伝える教材の開発などが有効と思われる。

公開シンポジウム「国際的に信頼される専門職高等教育をめざして」

主催：一般社団法人専門職高等教育質保証機構、
ハリウッド大学院大学

共催：大学マネジメント研究会

内容

● 13:30～13:40：開会挨拶

上杉道世
大学マネジメント研究会副会長

● 13:40～14:10：専門職高等教育の質保証
－教職協働とマネジャー・ディベロップメント－

川口昭彦
専門職高等教育質保証機構 代表理事

● 14:10～14:40：DX時代の高等教育
－アクティブラーニングとポートフォリオ－

栗田佳代子
東京大学大学院教育学研究科 教授

● 15:00～15:30：職業実践専門課程を通じた
専修学校の質保証・向上の推進について

船木茂人
文部科学省
総合教育政策局生涯学習推進課室長補佐

● 15:30～16:00：コロナ禍を超えて専門職高等
教育の発展をめざす
－日本語教育施策の動向からの考察－

圓入由美
文化庁 国語課課長

● 16:10～17:30：パネルディスカッション

栗田佳代子(東京大学)

船木茂人(文部科学省)

圓入由美(文化庁)

山中祥弘(メイ・ウシヤマ学園理事長)

川口昭彦(ファシリテーター、QAPHE)

総合司会および閉会挨拶：外山公美
専門職高等教育質保証機構 調査研究部長

(敬称略)

■ 本日13:30～実施
来場参加申込者 10名
オンライン参加申込者 約50名

令和4年度文部科学省
職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業

学校評価の充実等を目的とした
資格枠組の共有化・職業分野別展開と
その有用性の検証

事業成果報告書

発行日 令和5年3月
発行者 一般社団法人専門職高等教育質保証機構
〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-17

■禁無断転載■